

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 (令和元年度第1回)

日時：令和元年7月8日(月) 午前10時～正午
場所：鳥取県庁 議会棟3階 特別会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- (1) 第6回大会への参加チームの申込み状況について(資料1)
- (2) 手話パフォーマンスアドバイザー派遣状況について(資料2)

4 議 題

- (1) 議案第1号
第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園実施計画(案)について(資料3)
- (2) 議案第2号
第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の表彰について(資料4)
- (3) 議案第3号
本大会審査実施要領(案)について(資料5)

5 その他

- (1) 今後の日程について(資料6)
- (2) 協賛の募集について(資料7)
- (3) 平成30年度事業報告・収支決算及び平成31年度事業計画・収支予算について(資料8)
- (4) その他

6 閉 会

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿

(令和元年度第1回)

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)	出欠 (代理:敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長兼ささえあい福祉局長	宮本 則明	出
委員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	出
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	吉田 航	出
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	出
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	出
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	出
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	出
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭	出
	鳥取県教育委員会 教育次長	足羽 英樹	出
	鳥取県高等学校長協会 会長	御船 斎紀	欠
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	二階堂 茂夫	出
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	欠
事務局	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課長	谷 俊輔	/
	事務局長(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室長)	太田 次郎	
	事務局次長(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 課長補佐)	北川 泰子	
	事務局員(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 係長)	大森 宏治	
	事務局員(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 非常勤)	河内 大樹	

※オブザーバー出席:企画運營業務受託者 株式会社m&m. CO

※手話通訳者:鳥取県聴覚障害者協会



第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の参加申込み結果について

下記のとおり、第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に25都道府県から57チーム（59校）の参加申込みがありました。

今後、予選審査会を8月1日（木）及び2日（金）に実施し、本大会に出場する15チームを選出します。

記

1 参加申込み期間

令和元年5月20日（月）から7月5日（金）まで

2 参加申込み結果（別紙一覧参照）

区分	第6回大会	参考（過去の大会）				
		第5回大会	第4回大会	第3回大会	第2回大会	第1回大会
参加申込みチーム数 ※（学校数）	<u>57チーム</u> (59校)	62チーム (65校)	54チーム (55校)	61チーム (65校)	47チーム (50校)	41チーム (41校)
都道府県数	25都道府県	28都道府県	27都道府県	30都道府県	22都道府県	21都道府県

※複数校で構成される合同チーム又は1校から複数チームの申込みあり。

(1) 初参加申込みチーム（校）

第6回大会初参加申込み※	第5回	第4回
18チーム（18校）	19チーム（21校）	9チーム（10校）

※新規申込み学校と過去に参加実績のある学校との合同チームを含む。

(2) 合同チームでの参加申込み 4チーム（8校）（昨年の合同チームは4チーム（9校））

大泉桜高等学校・立川ろう学校（東京都）
身延山高等学校・富士学苑（山梨県）
ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校（広島県）
済美高等学校・松山聾学校（愛媛県）

(3) 県内の参加申込み 8チーム（8校）過去最多の参加申込数（昨年は5チーム（6校））

鳥取城北高等学校、境港総合技術高等学校、米子高等学校、米子西高等学校（初）
鳥取聾学校、岩美高等学校、米子東高等学校、琴の浦高等特別支援学校

3 予選審査会・予選審査結果発表

各チームから提出された動画による予選審査を行い、本大会に出場する15チームを選出します。

(1) 期日：令和元年8月1日（木）及び2日（金）

(2) 場所：鳥取県庁

(3) 結果発表：8月2日（金）に予選審査結果を公開発表。（YouTubeでのライブ中継あり）

4 今後のスケジュール

7月19日（金）予選審査動画の提出期限

8月1日（木）予選審査会

8月2日（金）予選審査結果発表

9月28日（土）リハーサル、交流会

9月29日（日）本大会（とりぎん文化会館梨花ホール）

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 参加申込みチーム一覧

別紙

■参加申込 57チーム(59校)

ブロック名	チーム数	学校数	No.	都道府県	学校(チーム)名	よみ	※ 参加実績	備考
北海道・東北	2チーム	2校	1	北海道	美唄聖華高等学校	びばいせいいか	3	
			2	宮城県	聖ウルスラ学院英智高等学校	せいうるすらがくいんえいち	初	
関東	10チーム	11校	3	埼玉県	ふじみ野高等学校	ふじみの	2	
			4	埼玉県	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	さいたまけんりつとくべつしえんがっこうさかどろう	初	
			5	東京都	大泉桜高等学校	おおいずみさくら	6	合同チーム
			6	東京都	立川ろう学校	たちかわろう	4	
			7	東京都	豊南高等学校	ほうなん	5	
			8	東京都	田園調布学園高等部	でんえんちようふがくえんこうとうぶ	初	
			9	東京都	潤徳女子高等学校	じゆんとくじよし	4	
			10	東京都	都文館グローバル高等学校	いくぶんかんぐろーばる	初	
			11	神奈川県	横浜南陵高等学校	よこはまなんりよう	5	
			12	神奈川県	金沢総合高等学校	かなざわそうごう	初	
			13	神奈川県	二俣川看護福祉高等学校	ふたまたがわかんごふくし	4	
			中部	11チーム	10校	14	石川県	田鶴浜高等学校
15	福井県	啓新高等学校				けいしん	6	
16	山梨県	身延山高等学校				みのぶさん	6	合同チーム
17	山梨県	富士学苑高等学校				ふじがくえん	初	
18	長野県	エクセラン高等学校				えくせらん	初	
19	静岡県	島田工業高等学校				しまだこうぎよう	初	
20	愛知県	杏和高等学校				きようわ	5	
21	愛知県	桜花学園高等学校Aチーム				おうかがくえん	5	同一校
22	愛知県	桜花学園高等学校Bチーム				おうかがくえん	5	同一校
23	愛知県	岡崎東高等学校				おかざきひがし	4	
24	愛知県	安城生活福祉高等専修学校Aチーム				あんじようせいいかつふくし	5	同一校
25	愛知県	安城生活福祉高等専修学校Bチーム	あんじようせいいかつふくし	5	同一校			
近畿	7チーム	7校	26	大阪府	クラーク記念国際高等学校大阪天王寺キャンパス	くらーきねんこくさい	初	
			27	大阪府	声間高等学校	あしま	2	
			28	大阪府	松原高等学校	まつばら	6	
			29	兵庫県	鳴尾高等学校	なるお	4	
			30	奈良県	奈良県立高等養護学校	ならけんりつこうとうようご	初	
			31	奈良県	奈良県立ろう学校	ならけんりつろう	6	
			32	奈良県	聖心学園中等教育学校	せいしんがくえん	4	
中国・四国	17チーム	19校	33	大阪府	クランク記念国際高等学校大阪天王寺キャンパス	くらーきねんこくさい	初	
			34	鳥取県	鳥取城北高等学校	とっとりじょうほく	6	
			35	鳥取県	境港総合技術高等学校	6		
			36	鳥取県	米子高等学校	よなご	3	
			37	鳥取県	米子西高等学校	よなごにし	初	
			38	鳥取県	鳥取壘学校	とっとりろう	5	
			39	鳥取県	岩美高等学校	いわみ	6	
			40	鳥取県	米子東高等学校	よなごひがし	2	
			41	鳥取県	琴の浦高等特別支援学校	ことのうちら	2	
			42	岡山県	明誠学院高等学校	めいせいがくいん	初	
			43	岡山県	倉敷翔南高等学校	くらしきしょうなん	初	
			44	岡山県	岡山学芸館高等学校	おかやまがくげいかん	初	
			45	岡山県	岡山県美術高等学校	おかやまけんみまさか	2	
			46	広島県	ノートルダム清心高等学校	のーとるだむせいしん	3	合同チーム
			47	広島県	広島南特別支援学校	ひろしまみなみ	2	
			48	香川県	高松南高等学校	たかまつみなみ	4	
			49	香川県	尽誠学園高等学校	じんせいがくえん	2	
50	愛媛県	済美高等学校	さいび	2	合同チーム			
51	愛媛県	松山壘学校	まつやまろう	初				
52	愛媛県	聖カタリナ学園高等学校	せいかりながくえん	3				
九州・沖縄	10チーム	10校	53	福岡県	大和青藍高等学校	やまとせいらん	5	
			54	福岡県	三井高等学校	みい	6	
			55	福岡県	久留米筑水高等学校	くるめちくすい	初	
			56	佐賀県	神埼清明高等学校	かんざきせいめい	3	
			57	長崎県	平戸高等学校	ひらど	4	
			58	熊本県	熊本壘学校	くまもとろう	5	
			59	熊本県	阿蘇中央高等学校	あそちゆうおう	初	
			60	大分県	大分東明高等学校	おおいたとうめい	6	
			61	沖縄県	沖縄尚学高等学校	おきなわしょうがく	初	
62	沖縄県	真和志高等学校	まわし	6				

※参加実績欄 数字は参加回数(今大会含む)、「初」:初参加校

【申込み数】

チーム数	57
学校数	59
都道府県数	25

【参加実績内訳】

初参加校	18
過去参加校	41

手話パフォーマンスアドバイザー派遣の実施状況について

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

1 目的・概要

全国高校生手話パフォーマンス甲子園（以下「大会」という。）の裾野の拡大及び予選参加校の手話パフォーマンスの向上等により、大会全体のレベルアップを図るため、手話言語及び演技についてアドバイスができる者を希望する学校に派遣するもの。

過去3回以上参加申込をしているが、本大会に出場した経験がなく、かつ、第6回大会に参加申込予定の高等学校等を対象に募集し（対象13校）、応募のあった6校の中から、厳正に抽選し、派遣校を2校決定。

派遣校	参加生徒	分野	派遣日時	アドバイザー
安城生活福祉高等専修学校 (愛知県)	15名	歌唱・演劇	6月10日(月) 15:00~17:00	岐阜ろう者劇団いぶき 河合 依子 氏
大分東明高等学校 (大分県)	12名	演劇	6月15日(土) 12:30~16:00	日本ろう者劇団 井崎 哲也 氏

2 実施状況

■安城生活福祉専修学校

(1) 概況

- ・演技内容は、「森のくまさん」の歌詞に合わせた演劇、手話ソング
- ・シナリオ作成直後の派遣となり、河合氏が初めから手話指導や演技・演出をアドバイスされた

(2) アドバイスの状況

- ① シナリオの初めから終わりまで、一つ一つの単語の手話表現についてアドバイス
 - ・手話が伝わりやすいように、単語の順番を変更することや、あえてシナリオにある単語の手話を使わず、伝わる表現にした方がよいというアドバイスあり（クマさんの「おかげで」は「ありがとう」の手話で表現するなど）
- ② シナリオに沿って動作・表現・演出についてのアドバイス
 - ・大きな動作で表現することや、ダンスなどの動きも取り入れて表現することなどをアドバイス（クマさんは腕を大きく伸ばしてから頭に手をつける等）
（演技のない生徒も演者の後ろに並び身体を揺らすなどして森を表現することなど）

(3) その他

《河合氏の感想等》

- ・アドバイザーとして準備が必要なので出来れば早めに連絡を取りたい
- ・アドバイス実施は学校の演技の30%以上の土台ができた状態でお願したい
- ・アドバイスだけでいいと思ったらまだこれからという状態で正直言って戸惑った。指導しても自分では納得できなかったので申し訳ない気持ちでいっぱいだった。
- ・(1.5時間では)アドバイザーとしては時間が足りない。2回が望ましい。



■大分東明高等学校

(1) 概況

- ・演技内容は、森のクマさんを題材にした、ろう者とのコミュニケーションのために手話を学ぶことの大切さを訴える演劇

(2) アドバイスの状況

一度演技を通して見た後、生徒の表情を豊かにするためのワークショップ（ペアになり表情や身振りなどで指定された単語を伝えるもの）を行い、その後2回シナリオに沿って手話・演技・演出について、実演もしながらアドバイスをされた。

《主なアドバイス内容》

- ・はっきり手話をしないと伝わらないこと
- ・表情をつけることがとても大事
- ・自然に表情が出るように感情を込めて演技すること
- ・動きは大きく表したり、動きのリズムや速さを変えることも気をつけること
- ・登退場の歩き方は背筋を伸ばすなど、ステージで演じる意識を持って取り組むこと
- ・演じ方によっては、聞こえる人と聞こえない人では演技の感じ方・理解が異なること、聞こえない人は聞くのではなく見ることも意識してほしい

(4) その他

- ・学校側に入念に準備をいただき、パワーポイントの投影により進行。生徒から手話付きで、はじめの挨拶・学校紹介、終わりにお礼の言葉を述べられた。
- ・井崎氏からは終わりに御自身のパフォーマンスであるサインマインの披露をされた。
- ・学校からの資料提供により、大分合同新聞社、大分ケーブルテレビの報道取材あり



《井崎氏の感想等》

- ・4時間のうち、最初の1時間はどうしてもアイスブレイクになる。その時間に自由参加で一般の生徒さんたちも参加出来るようにし、手話を全く分からなくても楽しめるワークショップを通して手話に触れる良い機会としてみては。

3 参考

応募対象 13校

応募のあった学校 6校

安城生活福祉専修学校（愛知県）

大分東明高等学校（大分県）

潤徳女子高等学校（東京都）

大和青藍高等学校（福岡県）

啓新高等学校（福井県）、

高松南高等学校（香川県）

※鳥取県内は岩美高校のみが対象校であったが応募なし

手話パフォーマンスアドバイザー派遣に係るアンケート結果

【安城生活福祉専修学校】

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

【回答者】

安城生活福祉専修学校 生徒9名（2年：3名、3年：6名）、教員1名

《手話学習期間》

6か月未満：0名、6か月以上1年未満：0名、1年以上2年未満：4名、2年以上：6名

1 アドバイス内容について

よかった 10名（100%）

【理由】

- ・詳しくわかりやすく教えてくださって嬉しかったです。
- ・わかりやすく指導して下さって、しっかりと覚えることができました。
- ・詳しく知れてよかったです。
- ・校外でパフォーマンスをする時に役に立つと思ったから。
- ・具体的で分かりやすかった
- ・細かく指摘してくれて良かったからです。
- ・内容が分かりやすかったからです。
- ・より深く手話を知ることができました。
- ・分かりやすく、1つ1つ大きくやっていたので分かりやすい。
- ・教え方も優しく、丁寧に教えていただいたので、生徒も楽しく学べました。（教員）

2 アドバイスを受けた感想、気づいた点、大会に向けて活かしたいこと等

- ・手話の経験が少ないから、表現の仕方などを教えていただいて良かったです。
- ・2人分の手話を表す時に両手で使うなど、表現の仕方を今後活かしていきたいです。
- ・今回教えていただいた事を、覚えて使っていきたいと思いました。
- ・今まではちょっと恥じらいながらやっていたけど、恥じらいを無くすことが大事なんだと思いました。
- ・大会に向けて活かしたいことは、手話を大きく表現することです。
- ・大会に向けて、色々教えてくださったので、必ず成功するようにしていきたいです。
- ・手話と言葉を合わせると少し言葉の使い方が変わってくるんだなと思いました。
- ・日本語なので色々な種類の手話があるのだと思いました。
- ・よく調べることが大切だと学びました。
- ・今まで自分たちがやっていた手話は小さかったので、もっと大きく表現することが大切だと思います。
- ・表現の仕方や動きのつけかたについて学びました。（教員）

手話パフォーマンスアドバイザー派遣に係るアンケート結果

【大分東明高等学校】

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

【回答者】

大分東明高等学校 生徒11名（1年：2名、2年：3名、3年：6名）、教員2名

《手話学習期間》

6か月未満：3名、6か月以上1年未満：2名、1年以上2年未満：2名、2年以上：5名

1 アドバイス内容について

よかった 13名（100%）

【理由】

- ・ろう者の方から見た感想が聞けて自分が演じたり見たり聞いていることは、ろう者の方からしてみれば何なのか分からなかったり伝わってないことを知って、大きく動いたりすること心がけていたが、それだけではなく「伝える」ということが大切なことだと思った。アドバイスをもらってろう者の方の気持ちはわからないけど、伝えようとする気持ちはとても強くなった。
- ・表情の作り方や、どうしたらろう者の方に伝えやすくなるかを知れたことが良かったです。
- ・楽しく、わかりやすく、顔の表情や手話の表現のやり方を教えてくださったから、とても良かったです。
- ・基本的な手話表現から、いくつかの表現を顔だけで表すということなど、とても面白く教えていただいて、すごく楽しかったです。また、演技指導においても、細かい所まで、1つ1つ、動作や表情を意識することを教えて下さって、わかりやすかったし、表現能力が上がったと思います。
- ・私たちの知らない分野のことを的確に教えて下さり、すごく初心者の私にもわかりやすかったです。見え方の違いが分かりました。
- ・手話甲子園に活かすことができる、わかりやすい内容でした。
- ・アドバイスで顔の表情をもっと作った方が良いと教えて頂いた時、言葉だけでなく実際に一緒にして頂いたので、わかりやすかったです。
- ・ろう者から見た視点と健常者から見た視点は、共に違うんだなとわかった。表情や大きな身振り手振りをする事の大切さが分かったことです。
- ・細かいところまで指導をしていただいたから
- ・私たちが気付かなかったことや、気付いてもどうすればいいのかわからなかったことに的確なアドバイスをくださり、良いものになったと思った
- ・プロの目線から見ると、なんでここはこうなっているのか、うまく伝わってない部分の指導はもちろん、もっと細かな指導もして頂いたので、短い時間ではあったが、とても参考になった
- ・本物の指導に触れる機会が与えられ、とても感謝している。後日、写真や動画を見ると生徒の表情がとても輝いており、改めて貴重で充実した時間だったと実感した。また振り返りをしたところ、生徒は自分へのアドバイスをきちんと残し、言葉にすることができていた。（教員）
- ・観客の目の動線を考えて動く、演技者の体の動き、向きや、演技をする意味（どうしてその動きをするのか考えて動く）等、考えていなかった事をアドバイスして頂きました。学生には手話は分からなくても見れば分かる理解できる内容でした。（教員）

2. アドバイスを受けた感想、気づいた点、大会に向けて活かしたいこと等

- ・大きく動くだけでなく、手話を見ている方にちゃんと分かってもらえるように1つ1つの手話をゆっくり伝えようと思った。そしてただ台本に書かれたことをこなすだけでなくちゃんと役になりきろうと思った。
- ・人に伝わるように動きを大きくしたり口をしっかりと開いたりするとちゃんと伝わるという点に気づけたので、それを活かしてどんどんレベルアップしたいと思いました。
- ・自分は、手話をしている際、全体的に表情が固いので、やわらかく笑顔でする、歩き方など、意識することを活かして、大会に向けて頑張りたいです。(体の動作や手話の動作を大きくはっきりする。目線を前に向けて手話をする。)
- ・小さく動かず、遠くにいる人にも分かるよう、大きく動くことを1つ1つの動作をハキハキとして、それにプラスで、表情もしっかりとつけて、自然体の表現をするということを、大会に向けて活かしていきたいと思います。
- ・聞こえている方と聞こえない方では、見え方が変わり、意味の取り違いなどがあることを知ったので、大会に向けて、井崎さんから教わったことを参考にし、表現の工夫や見え方の工夫をし、鳥取に行けるように、練習を頑張ります。
- ・指導していただいた事を学生と共に共有し、ビデオを見直し、与えられたチャンスを逃さないよう、予選に向けて頑張ります。感謝しています。"
- ・実際にプロの方が教えてくださったので、これからこうしていきたいなど、参考になりました。大きく表現することがわかりやすい手話が大事だと思いました。"
- ・いつも表情があまりないと言われていたので、今回のアドバイスを活用し、手話だけでなく表情や動作でも表現をしていきたいです。
- ・表情や、大きく表す事の大切さや、この表現が何を表しているかなど、1つ1つ考えながら動きたいです。動画を通して、見ている相手に何かを伝える事が出来たら良いです。"
- ・遠い場所から来ていただいてうれしかったです。とても参考になりました。"
- ・ろう者の方は私たちに伝わるように、身振り手振りで教えてくださったり、こんな感じで仕事をしているんだなど知れてよかった。
- ・アドバイスがわかりやすく、納得してしまうようなものばかりでした。
- ・練習をしている私たちには見えていないものもあり、とても参考になりました。"
- ・顔の表情が無かったり、表情に抑揚がなかったり、歩き方にも工夫をつけて頂いたり、本当に細かい部分も指導を頂いたので、ご指導された事を忘れずに練習を重ねていきたいです。
- ・「次はあの人へ、というふうにスポットを当てられる人をきちんと紹介した後に去る」バトンを渡し受け継ぐことで皆で演じている意識が高まった。また実習で不在の3年生まで登場する場面を考えていただき驚いた。実際やってみると花を持って座るだけでも舞台が変化した。すごい。生徒がどこまで自分のものにできるか未知数だが頑張りたい。(教員)
- ・プロの演技指導が受けられる反面、プレッシャーもあり、例年より練習に励みました。(教員)

3. その他、手話パフォーマンス甲子園についての御意見等

- ・今回、遠いところから来てくださり本当にありがとうございました。井崎先生に教えてもらったことを全て出し切れるように練習をしていきたいと思います。次は鳥取に行きます！本当にありがとうございました。

- ・今回はとても貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。
- ・自分は、まだまだ手話表現などができないので、今回のことと、今後の部活でレベルアップしていきたいです。ありがとうございました。
- ・たくさんの方々にご指導下さり、ほんとに恵まれた環境で練習することができました。これからもたくさん練習して、パフォーマンス甲子園に出場できるようがんばります！今回は本当にありがとうございました。
- ・今回のようなアドバイザー派遣をして頂いて本当に良かったです。
- ・アドバイザーの派遣はとても良いと思います。自分たちだと分からない事も沢山あるし、本格的にパフォーマンスの練習が出来、良い機会でした。
- ・アドバイザーの派遣はとても参考になるので、これからも続けてほしいと思います。
- ・講師の先生を派遣してくださりありがとうございました。手話パフォーマンス甲子園に向けて、より良い練習を重ね、アドバイスをもらった時よりもっと良いものを作りたいと思います！
- ・ろう者の方と話すこともでき、とてもいい体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。
- ・実際に大会に出場し、どんな雰囲気なのか見てみたい。
- ・今回、せっかく指導いただいたのに途中2週間を期末テストで中断してしまうのが残念。動画提出期限がもう少し遅いと助かります。アドバイザー派遣校に選んでいただきありがとうございました。とても素晴らしい経験ができました。(教員)
- ・一学期の期末考査が、7月初めから始まり、練習があまりできないまま、予選のビデオ撮りになります。締切があと数日先になると助かります。(教員)

第6回
全国高校生
手話パフォーマンス甲子園

実施計画(案)

令和元年7月8日(月)

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

大会企画運営業務受託者

 日本海新聞  日本海テレビ m&m.co 共同事業体

名称

第6回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

目的

「手話の普及」「交流促進」「地域の活性化」「共生社会の実現」

ろう者とうろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

主催・共催等

【主催】手話パフォーマンス甲子園実行委員会 【共催】鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
【特別協力】一般財団法人全日本ろうあ連盟 【特別協賛】日本財団

期日／会場

本大会 日時／令和元年9月29日(日) 9:30～16:00
場所／とりぎん文化会館 梨花ホール
(鳥取県鳥取市尚徳町101番地5)

交流会 日時／令和元年9月28日(土) 18:00～19:30
場所／ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間
(鳥取県鳥取市今町2-153)

演技内容

手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンスで、表情も含め手話言語を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるもの。

出場チーム

予選審査を通過した15チーム

(地方ブロック枠6、得点順枠6、合同チーム枠1、初出場枠1、開催地枠1)

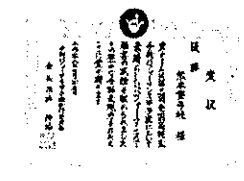
○申込み期間：5月20日(月)～7月5日(金)

○予選審査会：8月1日(木)～2日(金) 鳥取県庁で開催

※動画視聴による審査を実施する。8月2日(金)に予選審査結果の発表する。(ライブ中継あり)

表彰

- ① 優勝(賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。)
- ② 準優勝(賞状、準優勝楯、メダル、副賞を授与する。)
- ③ 3位(賞状、メダル、副賞を授与する。)
- ④ 審査員特別賞(賞状、副賞を授与する。)
- ⑤ 全日本ろうあ連盟賞
- ⑥ 日本財団賞
- ⑦ 鳥取県聴覚障害者協会賞
- 上記受賞チーム以外全ての本大会出場チームに賞を授与する。



本大会の内容

会場	内容
梨花ホール	手話パフォーマンス甲子園 本大会(郷土芸能ステージ含む)
フリースペース	総合案内(出場チーム受付) 鳥取県聴覚障害者協会コーナー、あいサポートマルシェ、 高校生販売コーナー、公式グッズ販売コーナー 協賛者PRコーナー、おもてなし販売、情報パネル、ライブ映像ほか
展示室	手話ロボット体験コーナー、鳥取壘学校写真展、 手話パフォーマンス甲子園PRコーナー、協賛者PRコーナー、 出場チームPRコーナー
小ホール・第1会議室	サテライト会場
屋外	あいサポートマルシェ

- 観覧自由(事前申し込み不要) ○入場無料
- 公式動画チャンネル(YouTube)でライブ配信
- ※ホール内の撮影及び飲食禁止(出場チーム除く)
- ※開会式、演技中等は、ホールへの途中入場不可

演技司会

総合司会



早瀬 憲太郎 (はやせ けんたろう)
ろう児対象の国語専門学習塾「早瀬道場」塾長。映画監督。元NHKみんなの手話講師。デフリンピックサムスン2017自転車競技日本代表。



原田 裕和 (はらだ ひろかず)
NHK鳥取放送局チーフアナウンサー。



河口 真里奈 (かわぐち まりな)
鳥取敬愛高等学校3年、生徒会長。
応援サポーターとして、第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に携わった。

審査員長

審査員

庄崎 隆志
(しょうざきたかし)



演出家・俳優

小中 栄一
(こなか えいいち)



一般財団法人
全日本ろうあ連盟 副理事長

廣川 麻子
(ひろかわ あさこ)



俳優、観劇支援団体
理事長

門 秀彦
(かど ひでひこ)



絵かき

野上 まり
(のがみ まり)



福岡ろう劇団博多

塩野谷 斉
(しおのや ひとし)



鳥取大学地域学部
教授

ゲストパフォーマー



劇団 あしたの会

1994年京都や大阪の演劇人が集まり、ヘレン・ケラーとアニー・サラバンを主役にした「奇跡の人」という芝居を上演。その公演の関係者が、翌年あしたの会を結成。劇団あしたの会では、ろう者と聴者がともに演劇を創ること、ろう者と聴者の観客が共に観て楽しめる演劇を創ること目指している。

高校生が主体となる大会へ

高校生の参加を促し、ろう者や選手との交流を通して、手話への理解を図ります。

ボランティア・郷土芸能ステージ・販売コーナーなど、大会を重ねるごとに、高校生の参加は増えてきました。今年は、さらに、高校生の参加を促し、ろう者や選手との交流を通して、手話への理解を図っていきます。

■ 高校生ボランティア計画

班	昨年	今年	役割
進行班	2	4	ステージ進行・出演者のアテンド
審査員班	0	2	審査員のアテンド
出演者班	24	24	出場チームのサポート
総合案内班	6	10	来賓のアテンド・総合案内業務
会場班	7	10	ワークショップ・カフェのサポート
合計	39	50	



+

- ◆ 応援サポーター
- ◆ 高校生販売コーナー
- ◆ おもてなしステージ

< 高校生ボランティア スケジュール >

5月 学校に参加募集
 7月12日 参加募集締め切り
 9月 事前説明会および資料送付

交流カード

選手・高校生ボランティアには、交流カード(プロフィールを記載したもの)を渡し、カードを交換することで、大会終了後も、交流の輪を深めてもらいます。

HANDSIGNの活用

今年もHANDSIGNの楽曲を、公式大会テーマソングとして使用。(調整中)



第一回大会から手話パフォーマンス甲子園に携わっていただき、ろう者にも、絶大な人気を誇る、HANDSIGN。今年もHANDSIGNの楽曲を、公式大会テーマソングとして使用。CMやWEBへ活用することで、音楽を通して高校生へのPRを図ります。

HANDSIGN

歌やダンスに、手話を取り入れたダンスパフォーマー。これまで、デフリンピックやパラスポーツの応援ソングにも採用され、手話パフォでも、第3回大会から3年連続で、公式大会テーマソングに採用されています。最近では、「僕が君の耳になる」がYouTubeで1日、200万再生を突破し、2019年 東京ガールズコレクションへの出演も果たし、高校生への人気も集めています。

日本海新聞・日本海テレビを通じた情報発信

一方的なイベント広報ではなく、記事やニュースを通して、ろう者につながる機会を創出します。

日本海新聞・日本海テレビで積極的に紹介

メディアを通じて、ろう者につながる機会



大会への参加意識の醸成を図る!

魅力的な大会

共生社会の実現

> ニュース案

- ◎7月 参加申込結果
- ◎8月 予選審査会・参加チーム決定!
- ◎9月 すなば珈琲オープン
手話パフォ弁当完成!
地元高校生の盛り上がり
地元出場チームの紹介

* 調整中

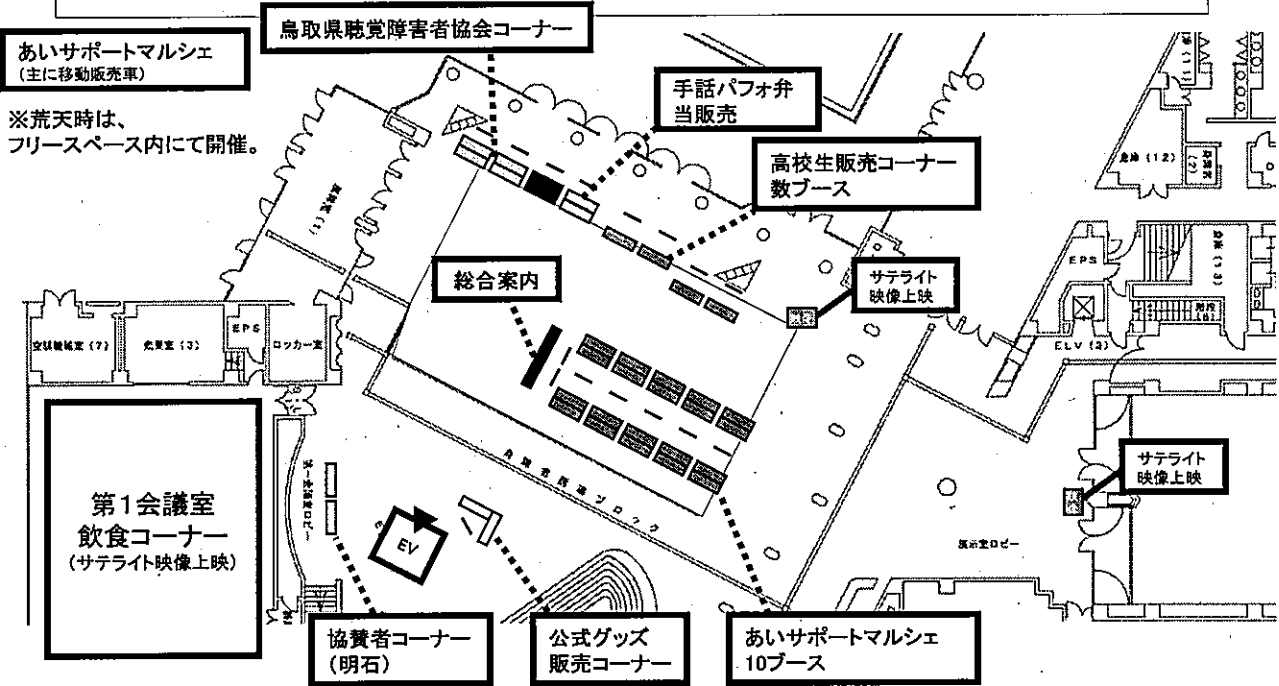
●会場イベント・使用会場一覧

場所	タイトル	時間	内容
フリースペース	総合案内	終日	
	鳥取県聴覚障害者協会コーナー	終日	鳥取県聴覚障害者協会によるPR、物販コーナー
	あいサポートマルシェ	終日	障がい福祉サービス事業所による飲食雑貨販売コーナー
	高校生販売コーナー	終日	地元高校生が生産・加工した物品販売コーナー
	手話パフォーマンス甲子園 公式グッズ販売コーナー	終日	手話パフォーマンス甲子園の公式グッズ販売コーナー
	協賛者PRコーナー	終日	協賛者のPRコーナー
	手話パフォーマンス甲子園弁当販売	終日	弁当の販売コーナー
	情報パネル	終日	
	ライブ映像	終日	ステージイベントの様子をモニターにて上映
展示室	手話ロボット体験コーナー	終日	大手前高校による手話ロボットの体験展示コーナー
	鳥取聾学校写真展	終日	鳥取聾学校写真部による写真展示
	手話パフォーマンス甲子園カフェ	終日	すなば珈琲による手話を使うカフェ
	手話パフォーマンス甲子園 PRコーナー	終日	手話パフォーマンス甲子園、過去大会を紹介
	協賛者PRコーナー	終日	協賛者のPRコーナー
	出場チームPRコーナー	終日	出場学校のパンフレットを展示
	出場チームクローク	終日	出場チーム専用の荷物置き場(29日のみ)
	託児室	終日	* 総合案内にて受付
小ホール	サテライト会場	終日	ステージイベントの様子を上映(飲食NG)
第1会議室		終日	ステージイベントの様子を上映(飲食OK)
第2会議室	来賓昼食会場	終日	
第3会議室	スタッフ控室	終日	
第4・7会議室	飲食コーナー(予備)	終日	来場者飲食コーナーとして解放
第5・6会議室	控室(報道)	終日	
第8会議室	控室(総務課)	終日	
屋外	あいサポートマルシェ	終日	障がい福祉サービス事業所による飲食雑貨販売コーナー
梨花ホール 主催者控室	救護室	終日	専門スタッフ・ベッドあり

●フリースペース

(調整中)

多くの来場者が通るフリースペースを中心に会場イベントを展開。
あいサポートマルシェ風にして賑やかさを演出します。



【あいサポートマルシェブース(調整中)】

事業所名	内容
Studio-E	リストバンド、記念アルバム(予約販売)
白兔はまなす園	焼き菓子、生菓子
岩美かたつむり工房	染物
ぱにーに	パン、焼き菓子、アクセサリ等
あさひ園	ラスク又はパン
松の聖母サポートセンター	アメリカンフラワー 他
夢工房こばちゃん	布製品、お菓子、クッキー、マドレーヌ
ねっこ作業所	プランター、雑貨等木工品
若ざくらふれあい作業所	こんにゃく、クッキー、布製品
向山ブルースカイ	菓子
合同ふれあい	やきそば、ドリンク
フェリース	お弁当販売

●手話パフオ弁当販売

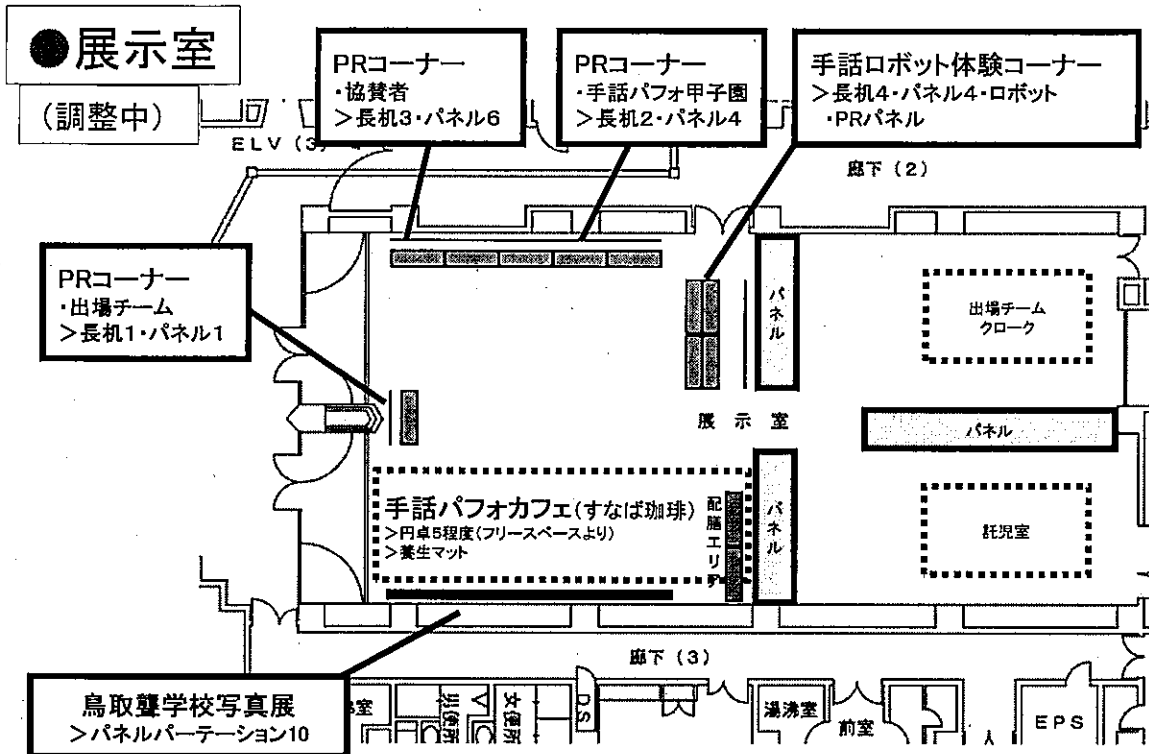
ニュースソースとしても発信

アベ鳥取堂の御協力により、鳥取の食をお楽しみいただける手話パフオオリジナル弁当を販売。(メニュー等調整中)



写真はイメージ。

* 会場内・会場周辺の飲食情報を大会プログラムに盛り込み、来場者へ情報提供



● すなば珈琲@手話パフォカフェ

すなば珈琲の御協力により、大会当日に「すなば珈琲@手話パフォカフェ」を開催し、ドリンクなどの販売を行う。

- >スタッフ(要調整)
 - ・すなば珈琲/ドリンクをつくる・会計関係
 - ・高校生ボランティア/オーダー・配膳
 - ・手話スタッフ/高校生ボランティアのサポート

【内容】

- 1 利用者は、メニューからドリンクを選ぶ。
- 2 高校生が、オーダーをとる。
※手話でのオーダーで読み取れない場合は指差しにて対応
- 3 高校生が、ドリンクを配膳し、手話にてメニューを伝える

事前に、手話スタッフから、高校生ボランティアへメニューの手話をレクチャーを行う。

大会期間中にて
以下店舗にて開催！

- 開催日 9月21日(土)～9月29日(日)
- 開催場所 鳥取駅前店
鳥取砂丘コナン空港店

■内容
手話パフォをPRするブースを店内に設置。また、期間内限定の手話パフォオリジナルメニュー(開発中)を通して、大会の周知を図ります。

交流の
推進

● 手話ロボット体験コーナー

追手門学院大手前中・高等学校(大阪市)ロボットサイエンス部が、開発した人の言葉を手話で翻訳する「手話ロボット」「しゅわっと君」の特別展示・体験コーナー。

* 2017年には同ロボットで国際大会
(ワールドロボットオリンピック)第3位

【内容】

- 体験) 手話ロボットに「こんにちは!」「よろしく!」挨拶をしてみよう!
- 展示) 手話ロボットをはじめとした活動紹介パネル展、解説



高校生
による
コーナー

●本大会

(1)手話通訳者の配置 18名

班	配置、担当人数
本部	<ul style="list-style-type: none"> ・情報保障コーディネーター:1名 ・運営統括付き:1名 ・補佐:1名 ・演技司会付き:1名
進行班	<ul style="list-style-type: none"> ・下手出演者用:1名 ・上手出演者用:1名 ・ステージ上 聞取通訳:3名+補佐1名 ・ステージ下 読取通訳:3名+補佐1名
審査員班	<ul style="list-style-type: none"> ・審査員付き:1名
ホール班	<ul style="list-style-type: none"> ・手荷物検査:1名
受付案内班	<ul style="list-style-type: none"> ・総合案内:1名 ・託児:1名

(2)手話スタッフの配置 16名程度

班	配置、担当人数
会場班	<ul style="list-style-type: none"> ・展示室:2名 ・フリースペース:2名
ホール班	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール入口:8名
受付案内班	<ul style="list-style-type: none"> ・総合案内:2名
駐車場班	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取駅:2名

※手話通訳者、手話スタッフの配置・人数は要調整

(3)要約筆記

- ・要約筆記者:4名+補佐1名
- ・ステージ正面モニターに要約筆記を表示
- ・要約筆記の内容を表示するスマートグラスを受付で希望者に貸し出し

(4)会場モニター・スクリーンの設置

- ・正面モニター(手話通訳、要約筆記、ライブ映像)
- ・上手スクリーン(ライブ映像)
- ・下手スクリーン(演目名等)

(5)音声ガイドの実施

- ・音声ガイドを放送
- ・ガイド受信用のラジオを受付で希望者に貸し出し

(6)その他

- ・筆談ボードの準備
- ・パンフレットに音声コード、ルビを記載(一部)
- ・情報ボードの設置

●交流会

(1)手話通訳者 14名

班	配置、担当人数
進行班	<ul style="list-style-type: none"> ・運営統括付き:1名 ・舞台監督通訳:1名 ・ステージ上聞取通訳:2名 ・ステージ下読取通訳:2名 ・知事付き:1名 ・全日本ろうあ連盟付き:1名 ・早瀬氏付き:1名 ・テーブル通訳:2名
受付案内班	<ul style="list-style-type: none"> ・総合案内:3名

(2)要約筆記

- ・要約筆記者:4名
- ・ステージ両脇のモニターにそれぞれ要約筆記を表示

●モニター／情報保障計画

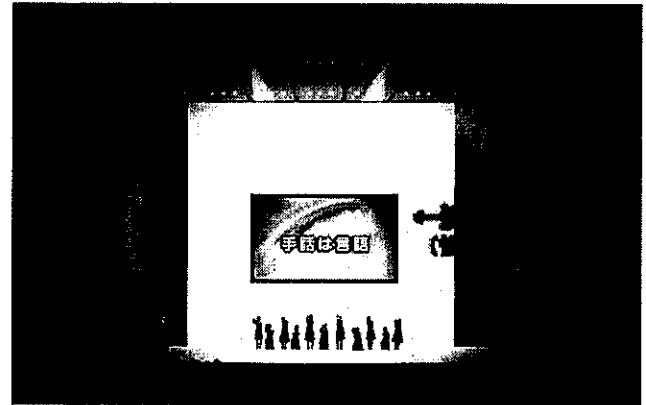
モニターに表示する映像は、挨拶・パフォーマンスともに極力正面から手話を撮影します。
撮影方法については、実行委員会および情報保障コーディネートチームにて協議して決定します。

■多目的ホール (300インチLEDモニター・200インチおよび120インチスクリーン)

■式典・インタビュー時



■パフォーマンス時



* 司会台に演技時間の経過を示す表示灯を設置

表示場所	表示内容	
	■式典・インタビュー時	■パフォーマンス時
300インチLEDモニター	①手話通訳 ②要約筆記 ③ライブ映像	演出映像
200インチ程度スクリーン(上手)	ライブ映像	ライブ映像
120インチ程度スクリーン(下手)	テロップ(演目名ほか)	テロップ(出場チーム/演目名ほか)

(ライブ映像イメージ) ※カメラNOは、座席計画を参照



カメラ①@下手前 手話通訳者を中心に撮影。



カメラ②@上手前 演技を中心に撮影。
カメラ③@上手中 舞台中央部分、演技・インタを中心に撮影。



カメラ④@中央後 舞台全体を中心に撮影。

●ポイント「情報保障」

登壇する出演者(ろう者)への情報保障として、①②を実施します。

- ①手話通訳者 @舞台上手袖・下手袖・舞台下(最前列)
 - ②情報保障モニター @舞台上手袖
- ※演技前の出演者にステージの様子がわかるようにします。

※最終的な手話通訳・要約筆記エリアについては、鳥取県・鳥取県聴覚障害者協会と調整し実施します。

■小ホール／第1会議室

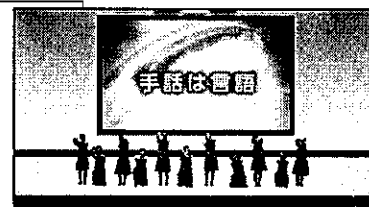
(スクリーン・プロジェクター投影)
※全て音声あり ※ライブ映像として

■フリースペース

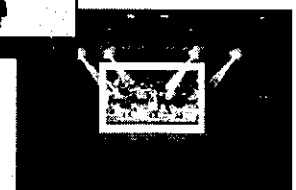
(50インチモニター上映)
※全て音声あり ※ライブ映像として

■ライブ配信

※著作権の関係で一部音声なし
※演目などをテロップ表記する

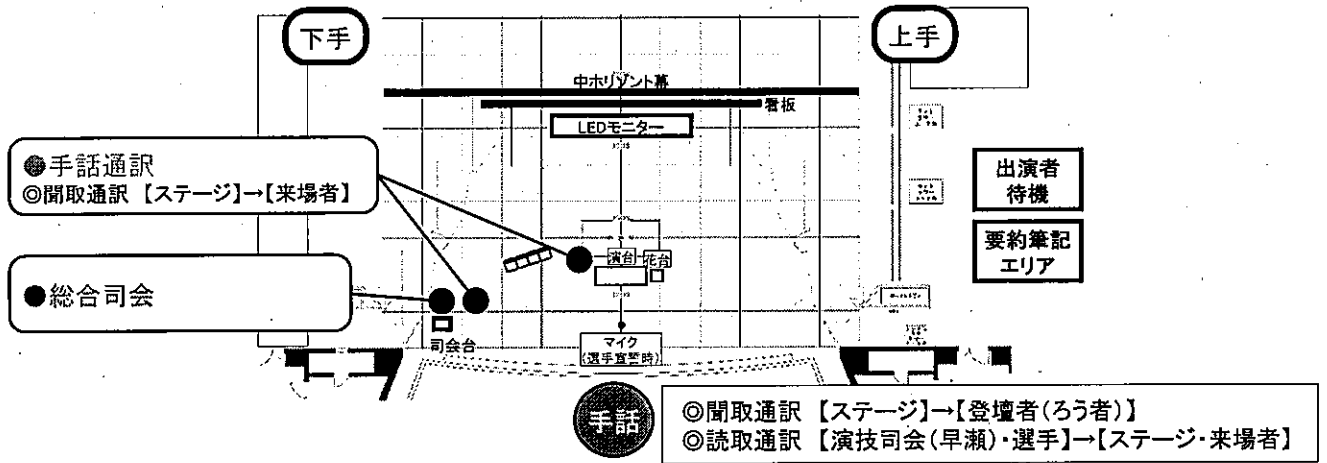


【ライブ配信イメージ】
ステージ上、LEDモニターを含めた画角の映像を流します。

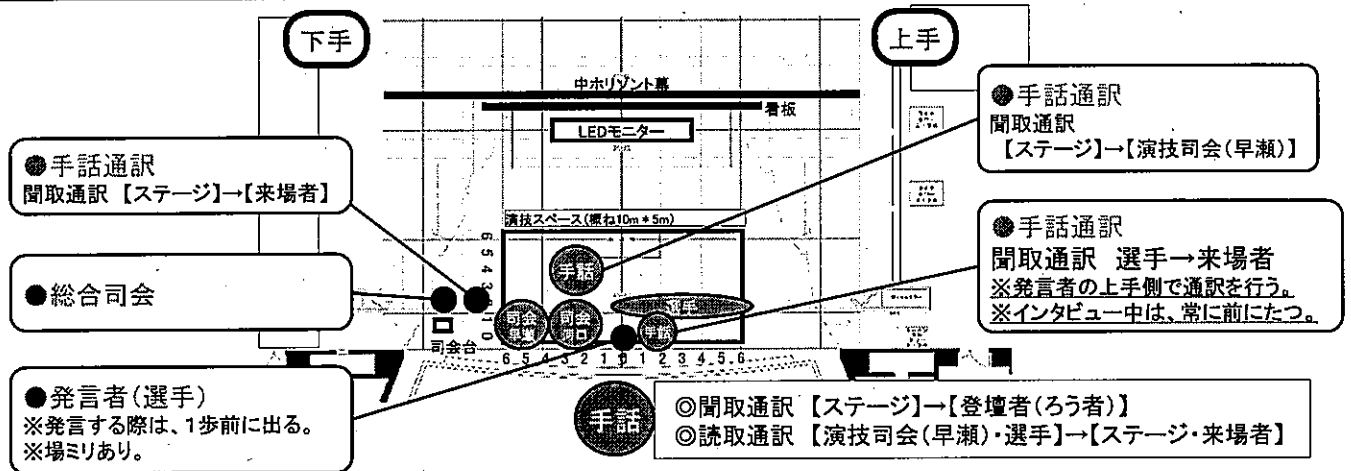


小ホール(サテライト会場)の様子
(スクリーンサイズ 350インチ程度)

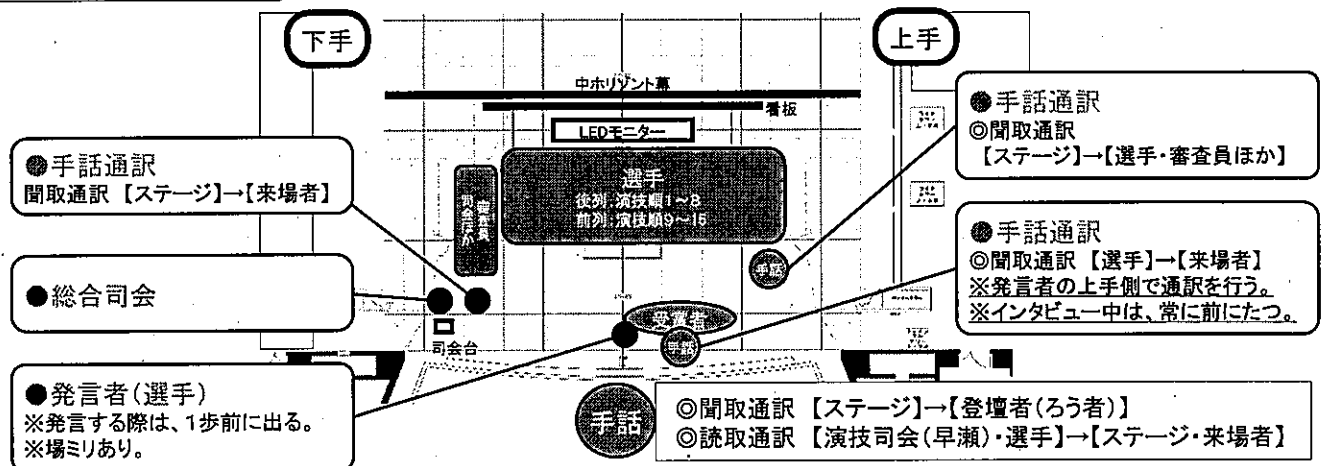
●手話通訳配置／式典時



●手話通訳配置／パフォーマンス・インタビュー時



●表彰式時



◎「読取通訳」 手話言語 → 日本語 / ◎「聞取通訳」 日本語 → 手話言語

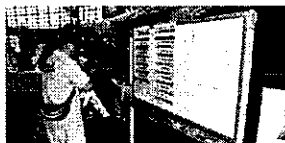
※最終的な手話通訳・要約筆記エリアについては、鳥取県・鳥取県聴覚障害者協会と調整し実施します。

全国に誇る アクセシビリティな大会へ

ろう者をはじめ、障がいの有無に関わらず、あらゆる人が参加しやすい環境を作ります。

鳥取県の価値を高めます

障がい者種別	設置・配置等	内容
聴覚障がい	大型LEDスクリーン	ステージに大型スクリーンを設置し、 ①手話通訳 ②要約筆記 ③ライブ映像の3つの情報集約し、 ひとつのスクリーンで全ての情報を得られるようにします。
	上手下手スクリーン	上手下手にスクリーンを設置し、演技中は、ライブ映像を配信し、選手の表情が見れるようにします。また、緊急時は、大型スクリーン同様、文字情報で、状況の説明を行います。
	手話通訳	ステージに手話通訳者を配置します。
	要約筆記	ステージスクリーンに要約筆記を表示します。
	手話スタッフ	総合案内・ホール等に手話スタッフを配置します。
	情報ボード	総合案内に情報ボードを設置し、現在のステージの演技者情報、緊急時情報などを表示します。
視覚障がい	音声コード	チラシやプログラムに音声コードを配置します。
	音声ガイド	ステージイベントについて音声ガイドを実施します。
肢体不自由	車椅子席	車椅子席＋介添用席を設けています。
全体	ハートフル席	体の不自由な方や介添の方、ゆとりのある席で見てもらうため、ハートフル席を設置。自己申告制で、優先的に席にご案内します。
	ハートフルスタッフ	サポートが必要な方には、ハートフルスタッフが付き添い、イベント期間中にサポートを行います。
	救護室	重度の障がい者など、観覧中に、休憩したい方のために、横になれるベッドを備えた救護室を設置。専門のスタッフを配置しています。
	情報パネル	フリースペースに情報パネルを設置し、どこでどんなイベントが行われているかを、分かりやすくします。
	SNSでの情報発信	大会当日、SNSで情報発信し、文字を通して情報共有して頂きます。
	インターネット動画配信	会場に来れない方のために、インターネットでの動画配信を行います。
	福祉タクシー	当日は、JR鳥取駅に福祉タクシーを配置し、車イスでの来場のサポートを行います。



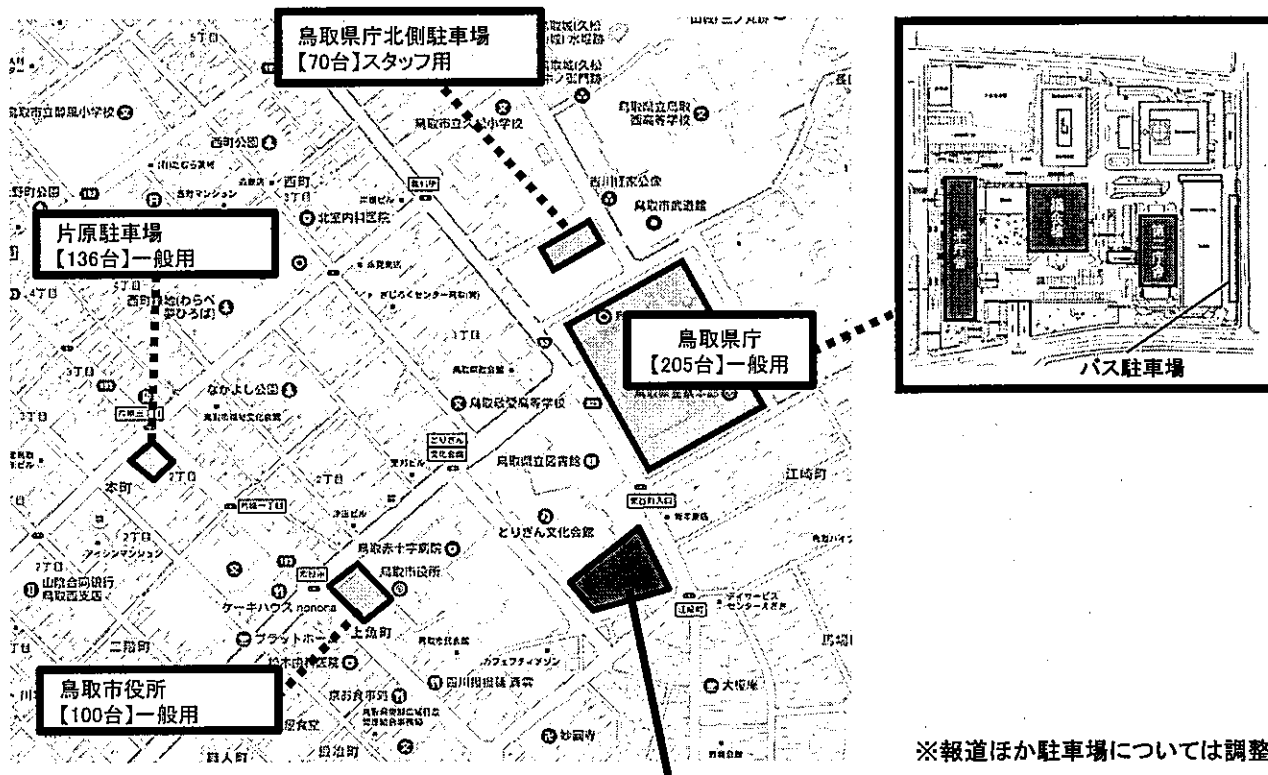
+

運営スタッフのおもてなしの心

● 合計854台 (内ハートフル55台、大型11台)

優先順	駐車場名	駐車区分				合計
		一般	大型	関係者	ハートフル	
1	とりぎん文化会館駐車場	282	6		55	343
2	鳥取県庁	200	5			205
3	鳥取県庁北側駐車場			70		70
4	鳥取市役所	100				100
5	片原駐車場 有料	136				136
	合計	718	11	70	55	854

■ 会場周辺駐車場



※報道ほか駐車場については調整中

■ ハートフル駐車場

(とりぎん文化会館 14台分)

※別に図書館側に4台

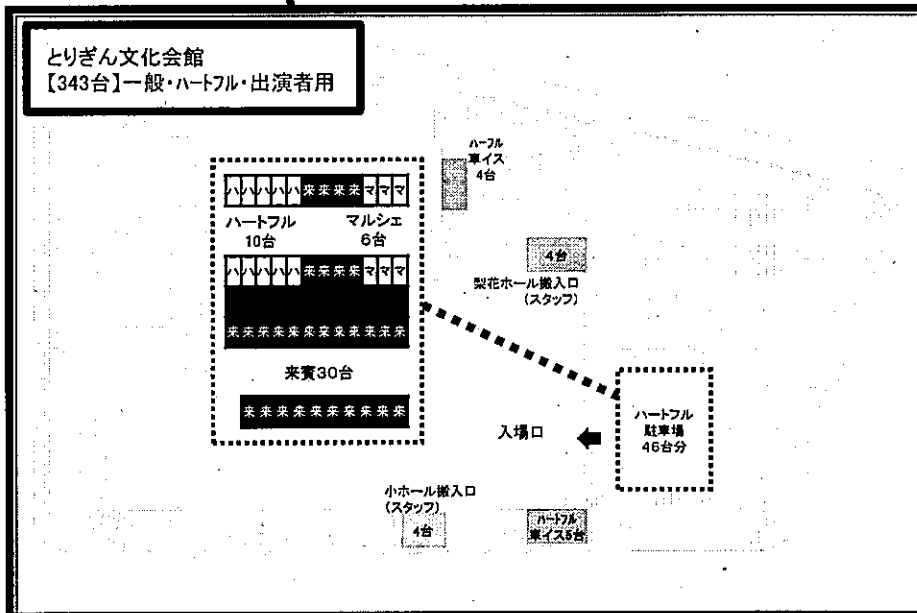
当日パス配布

ハートフル専用の駐車場を確保し、パスを発行



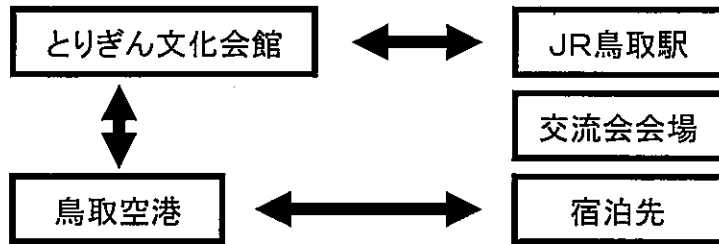
- 障がいのある方
- 車いすの方
- 歩行が大変な方
- 妊婦の方

- 1) 警備員が「ハートフル駐車場はご利用ですか? (ボード表示)」と伺い、該当した場合はパスを発行。
- 2) 警備員指示し専用スペースへアテンド。
- 3) 必要がある場合、駐車場から総合案内までアテンド。



●出場チーム・来賓ほか(前日当日)

必要に応じ、出場チーム・来賓の「JR鳥取駅」「とりぎん文化会館」「宿泊先」「鳥取空港」「交流会会場」間を大型バスおよびタクシー等にて送迎を行います。



* 配車計画は、出場チーム決定後に調整します。



◎大型バスを運行
 収容人数:26席
 (車イス1台)(立乗り時56名)
 低床バス スロープ付き

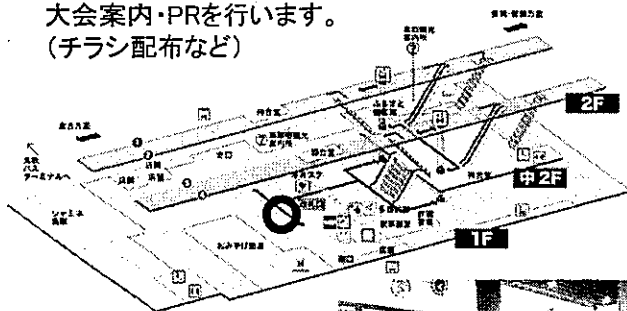
●来場者(当日)

車イスが積載可能、広いスペースの福祉タクシー1台を配置

【対象】JR鳥取駅から会場までの移動が困難な方

●手話パフォPRコーナー(当日)

鳥取駅内にJR利用者・観光客、来場予定者等に向けて大会案内・PRを行います。
 (チラシ配布など)



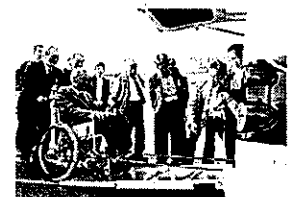
※柱の前あたりなど、通行の妨げにならない場所で調整

>長机1・のぼり・簡易看板
 大会広報物ほか



ワークフロー

- ① JR鳥取駅・とりぎん文化会館福祉タクシー係を配置
- ② 福祉タクシーはどちらかに待機
- ③ 必要な方がいらっしゃれば携帯で福祉タクシーを呼び出し随時送迎



① 出場者募集

- ・5月20日(月)参加申込み受付開始
- ・7月5日(金)参加申込み締切
- ・7月19日(金)予選審査動画の提出締切
→データ確認作業を行い、予選審査会に備えます。

② 予選審査会

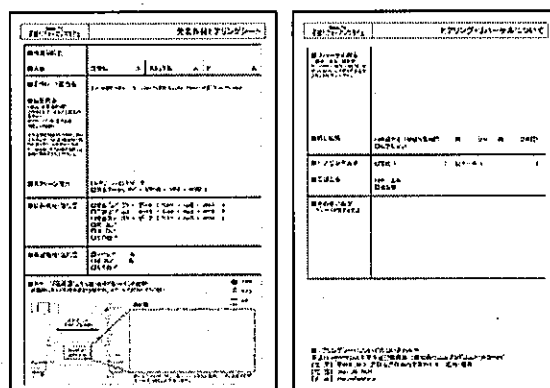
- ・8月1日(木)予選審査会
- ・8月2日(金)予選審査会(結果発表)
→結果発表、本大会演技順番、選手宣誓チーム決定。

③ 予選通過の通知

- ・8月9日(金)(想定)
あわせて、前日リハーサル時間を通知。

④ ヒアリングシートの提出

- ・8月30日(金)(提出締切)
演技内容の詳細の報告。
(シナリオ・使用楽曲・映像・照明・小道具)



⑤ 舞台監督とのMTG

- ・9月2日(月)～9月13日(金)
ヒアリングシートをもとに、舞台監督とメールや電話で打ち合わせを実施。

⑥ 演出素材提出

- ・9月13日(金) 本大会2週間前
本大会で使用する「演技撮影データ・映像(文字データ)・音声」を出場チームに提出いただく。
※データおよび著作権など問題ないか確認作業を行う。
※映像(文字データ)についてはPDFを推奨します。
※情報保障担当者が、事前に内容を把握して当日を迎えます。

⑦ リハーサル・交流会

- ・9月28日(土)

⑧ 本大会

- ・9月29日(日)



● とりぎん文化会館への移動

必要に応じ、JR鳥取駅・鳥取空港～とりぎん文化会館間の送迎を行います。

● リハーサル計画 (@ とりぎん文化会館 梨花ホール)

各チーム15分のリハーサルを実施し、最終演技内容・照明音響調整を行います。
(午前中のリハーサルについては、近郊の県内チームを先に実施)

9月28日(土) リハーサル計画			
	リハーサル順	出場チーム	集合時間
9:00	9:00 オールスタッフ集合/リハーサル準備		
9:20	9:20~9:50 情報保障リハーサル		
9:40			
10:00	1	鳥取県内・近隣高等学校	9:30
10:20	2	鳥取県内・近隣高等学校	9:50
10:40	3	鳥取県内・近隣高等学校	
11:00	調整・データ処理		
11:20	4		10:50
11:40	5		
12:00	調整・データ処理		
12:20	6		11:50
12:40	7		12:10
13:00	8		
13:20	調整・データ処理		
13:40	9		13:10
14:00	10		
14:20	調整・データ処理		
14:40	11		14:10
15:00	12		14:30
15:20	13		
15:40	調整・データ処理		
16:00	14		15:30
16:20	15		
16:40	調整・データ処理		
17:00	最大延長 17:00まで		
17:30	休憩		
18:00	進行班MTG		
18:30			
19:00	リハーサル(開会式・表彰式)		
19:30			
20:00			
20:30	調整・休憩		
21:00	リハーサル(ゲストパフォーマンス)		
21:30	舞台転換・統括MTG		
22:00	終了		

● 練習会場計画

(@ とりぎん文化会館 各練習会場)

リハーサル以外で、各1チーム1時間程度の練習ができるように会場内に出場チーム用に練習スペース(4エリア)を確保します。

<練習会場>

- 1 小ホール
- 2 リハーサル室
- 3 第3練習室
- 4 第4練習室

● 交流会への送迎

必要に応じ、とりぎん文化会館～ホテルニューオータニへの送迎を行います。

時間	小ホール	リハーサル室	第3練習室	第4練習室
11:00				
12:00	* 出場チーム決定後、 各チームの以降をヒアリング後調整			
13:00				
14:00				
15:00				
16:00				
17:00				

● とりぎん文化会館への送迎

必要に応じ、JR鳥取駅(宿泊先周辺)～とりぎん文化会館の送迎を行います。



● 座席にて待機



● 直前練習計画(@とりぎん文化会館 リハ室・練習室)

各チーム30分の直前練習を実施し、最終練習・着替えを行います。



● ステージスタンバイ

本番15分前には、舞台上手エリアにてスタンバイします。



● 本番



● 昼食

弁当を準備し、座席もしくは練習室ロビーにて食事をする。
※演技順によっては本番前に食事してもらう。



● 表彰式

ゲストパフォーマー後に座席より移動し舞台上手エリアにてスタンバイします。



● 記念撮影

本番後、記念撮影を行います。
・動画) 1階席後方より撮影
・写真) 舞台上手・脚立より撮影



● 主要交通期間への送迎

必要に応じ、とりぎん文化会館～鳥取空港・JR鳥取駅の送迎を行います。

<直前練習計画>

時間	リハーサル室	第3練習室	第4練習室
8:30			
9:00	演技順1	演技順2	演技順3
9:30			
10:00	演技順5		
10:30	演技順8	演技順6	演技順7
11:00			
11:30			
12:00			
12:30	演技順9	演技順10	演技順11
13:00	演技順12	演技順13	演技順14
13:30	演技順15		
14:00			

■緊急時対応(荒天時)

[最終決定] イベント開催日 AM5:00時点

主催者と協議の上

鳥取市内に警報が発令

開催か中止の判断

中止の場合

- ◎鳥取県⇒各関係機関へ連絡
- ◎統括⇒各班へ連絡
- ◎進行班⇒各出演者へ連絡
- ◎出演者班⇒出場チームへ連絡

- ・来場者へは、会場「3×6看板」に「本日は中止となりました」紙を張り 周知を行う
- ・来場者対応として、スタッフを配置し、中止を喚起
- ・特設HP/Facebook等で、中止を告知

開催の場合

- ◎鳥取県⇒各関係機関へ連絡
- ◎統括⇒各班へ連絡
- ◎進行班⇒各出演者へ連絡
- ◎出演者班⇒出場チームへ連絡

- ・特設HP/Facebook等で、開催を告知

- ◎3×6看板へのビニールがけ
- ◎傘袋の用意等

■緊急時対応(ケガ・病気)

ケガ・急病

発見者

- 疾病者の症状の確認(意識・心拍・呼吸・出血等)
- 応急手当(現場で出来ること)
- 受付案内班へ連絡(総合案内)
- 救護係が到着するまで、付添

連絡

受付案内班

連絡

受付案内班・救護係

傷病者の対応

- 看護師と現場に行き、応急手当
- 経過観察か救急車の出動か判断
- 軽度のケガの場合
応急手当・救護室で経過観察

本部

来場者の対応

- 現場に行き、状況確認・情報収集
保護者・学校・連絡先など
- 会館へ連絡
- 人除け、手話通訳などが必要な場合、
協力要請

救急車の出動・要請が必要な場合

会館から通報【119番】

連絡

受付案内班・救護係

付添搬送

【医療機関】 処置

* 状況が落ち着いてから、記録をまとめ、受付案内班統括へ連絡

■ 緊急時対応(火災・地震)

火災発生

発見者

- 火気の消化(可能であれば初期消火)

本部

会館から通報【119番】

全スタッフ

- ①火災状況の確認を行う。
- ②来場者がパニックにならないよう落ち着かせる。

各班の対応

本部

- 被害状況をまとめる

進行班

- 司会者・テロップで告知
「火災が発生しました。状況を確認していますので、落ち着いて指示をお待ちください。」
【ステージ・袖の出場チーム・出演者誘導】

出演者班

- 学校単位で集め、人数確認
- 落ち着かせて、指示を待つ
【座席の出場チーム誘導】

受付案内班／ホール班

- 情報ボードで告知、落ち着かせる
- 各班の手話通訳スタッフを、高台に上げ、情報を伝達
【ホール・会場の来場者を誘導】

駐車場班

- 避難場所の確保
- 緊急車両の進入路確保

地震発生

全スタッフ

- ①安全確保(頭を下げて、前に屈む)
→「転倒・落下」の危険があるものから遠ざける。
- ②来場者がパニックにならないよう落ち着かせる。

各班の対応

本部

- 最新の災害情報入手(テレビ・ラジオ・インターネット)
- 被害状況をまとめる

進行班

- 司会者・テロップで告知
「地震が発生しました。荷物などで頭を覆い、「転倒・落下」の危険があるものから遠ざかってください。状況を確認していますので、落ち着いて指示をお待ちください。」
【ステージ・袖の出場チーム・出演者誘導】

出演者班

- 学校単位で集め、人数確認
- 落ち着かせて、指示を待つ
【座席の出場チーム誘導】

受付案内班／ホール班

- 情報ボードで告知、落ち着かせる
- 各班の手話通訳スタッフを、高台に上げ、情報を伝達
- 救護係は、救急道具を持って本部へ
【ホール・会場の来場者を誘導】

駐車場班

- 避難場所の安全確認(4か所)
- 緊急車両の進入路確保

「各統括係」(各班)

状況報告

指示

本部(緊急対策本部)

【鳥取県・JV・会館 本部集合】

- 火災・被害状況の確認
- 避難経路・避難場所の指示

【避難場所】

4つのエリアに分け、誘導

- ①出場チーム 【出演者班】
- ②聞こえる人 【ホール班】
- ③ろう者 【進行班】
- ④負傷者 【受付案内班】

広報一覧 (一部制作物含む)

内容	規格	枚数	初稿	校了期限	納品日			
ポスター	B1片面	20枚	5月12日(水)	7月上旬 (要調整)	7月中旬 (納期、要調整)			
	B2片面	7,600枚		8月5日(月)頃	8月20日(火)~ (納期、要調整)			
チラシ(出場チーム決定後)	A4両面	110,000枚				6月12日(水)	6月19日(水)頃	7月5日(金) ※うちわ7月中旬
		(うちわ折込用45,000枚)						
のぼり旗①(開催日入り)	W45*H180	250枚						
のぼり旗②(大会紹介用)	W45*H180	20枚						
卓上のぼり旗①(開催日入り)	W10*H30	40枚						
卓上のぼり旗②(大会紹介用)	W10*H30	20枚						
うちわ	345*243(手持ち13cm)	3,000枚						
横断幕(県庁)	W800*H90	1枚		6月中旬	7月5日(金)~ 9月30日迄迄			
懸垂幕(中部総合事務所)	W90*H1000	1枚						
懸垂幕(西部総合事務所)	W70*H840	1枚						
大会PR映像①	※※※※※※※※※※	5分以内	5月24日(金)	5月31日(金)	5月31日(金)			
大会PR映像②	※※※※※※※※※※	5分以内	8月9日(金)※	8月中旬	8月中旬			
大会PR映像③	※※※※※※※※※※	10分以内	10月26日(金)	11月	11月(推進会議用として)			
ウェブ映像	※※※※※※※※※※		11月	12月	1月			
テレビCM	大会開催編(15秒)	NKT 30本	8月30日(金)	9月12日(木)校了 9月13日(金)入局	9月21日(土)~28日(土)			
ラジオCM	大会開催編(20秒)	FM山陰 5本			9月21日(土)~28日(土)			
大会PRテレビ番組①	大会開催編	NKT 2分番組			9月21日(月)21:54~22:00			
大会PRテレビ番組②	大会開催編	NKT 2分番組			9月24日(木)21:54~22:00			
テレビ番組(スナイス 9月放送)	大会開催編	1~2分程度	—	—	未定			
テレビニュース	地元出場チーム紹介	ニュースevery	—	—	大会直前			
新聞広告①	大会開催編	記事体広告			9月中旬			
新聞広告②	大会開催編	記事体広告			9月下旬			
新聞広告③	大会開催編	記事体広告			9月下旬			
地元情報誌	うさぎの耳(東・中部)	113,269部			9月12日(木)			
新聞折り込み広告	チラシ/鳥取市内	45,000部			9月21日(土)折込			
大会プログラム	A4 20ページ	2,500部	8月23日(金)頃	9月6日(金)頃	9月20日(金)			
大会実績報告書	A4 36ページ	6,500部	11月中	12月	1月			

- * その他の制作・手配物
関係者証/主催来賓用胸章/手話スタッフ用ゼッケン/副賞パネル/ ほか
- * 県内障がい福祉サービス事業所へ優先発注(出展他含む)

日本海新聞・日本海テレビを使った広域的・効果的な広報

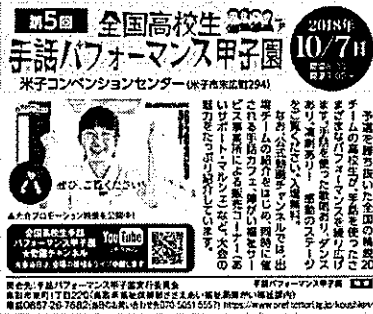
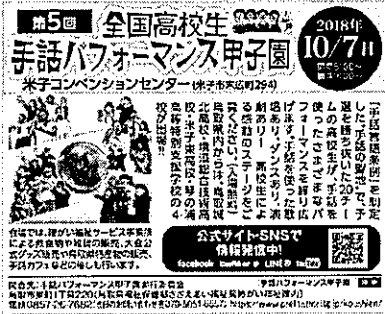
日本海新聞・日本海テレビの2大メディアを活用し、広告だけでなく、記事やニュースを通して、大会の情報を発信！



メディアを通じた、手話・ろう者への理解を図る！

■ 日本海新聞 ◎ 県内全域 169,000世帯に配布！ ◎ 普及率75.8%

① 記事体広告 カラー3回



純粋な広告ではなく、ARを用い紙面と動画を連携して掲載します。

掲載面(生活情報面): カラー見開きとなり、読者に注目されています

② うさぎの耳 1頁(記事7段+全4段カラー) * 東中部版 × 1回



高校生が作る！手話パフォーマンス甲子園
高校生応援サポーターが記者となり、イベントを紹介することで、高校生への興味・関心を訴求します。

113,269部(東中部版)
日本海新聞折込+コンビニ・スーパーなど150箇所に設置(鳥取県東部・中部、兵庫県但馬地域)

③ 特集記事・記事などで随時情報発信



①②③で



「広告」としてだけでなく「情報」として多くの県民へ大会の魅力・情報を発信！

■ 日本海テレビ

- 放送エリア 鳥取県・島根県全域
- 視聴可能世帯 鳥取県 215,623世帯・島根県 262,219世帯／計 477,842世帯
- 視聴率 県内3局の中で、ダントツに視聴率が高く、全時間帯で視聴率3冠を獲得

①大会PR番組 2分*2回放送／9月23日(月)・24日(火) 21:54~22:00放送



内容

予選審査会の様子、出場チームの紹介、見どころ、出場する地元チームへ取材したもの等。

※視聴率(2018年度視聴率)

9月23日 20.9% / 9月24日 17.4%

※NTVの特番編成により放送時間の変更の可能性あり

約180,000世帯以上で視聴する試算

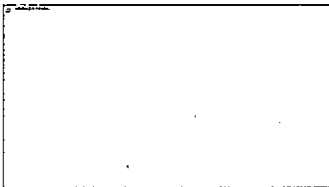
②TVCM 15秒*30本 / 大会開催1週間前後から放送



内容

大会、大会開催告知をPR
CMには、高校生「応援サポーター」を起用します。

③スパイス告知 / 9月28日(土)(調整中)



内容

スパイス番組内で、全国高校生手話パフォーマンス甲子園のイベント告知を行います。

④ニュースevery内で、大会を告知 / 大会開催1週間前後から放送



内容

ニュース内にて、大会直前に地元出場チームの紹介を行います。

⑤特別番組 / 本編11月24日(日)16:30~17:30(正味尺56分)

内容

大会結果のダイジェスト番組を制作・放送します。

大会のイメージカラーを統一

企画委員からも大会のイメージカラーを決めた方が良いという意見があり、第3回大会より、「黄色」を大会統一カラーとして展開しています。

- ① 現在、自動販売機・募集ポスターが黄色のイメージで展開していること
- ② 第1回の大会カラーであること
- ③ 日本財団の協賛によるユニバーサルデザインタグシーが導入されたこと



令和元年！ 手話の聖地・鳥取県で 咲かせよう！手話の花

キャッチコピーに合わせ、出場チームが花を咲かせている様子でデザインしています。



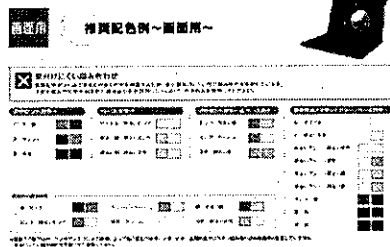
第6回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

入場無料 日時/2019年9月29日(日) 時間/9:00~
会場/とりぎん文化会館 梨花ホールほか

※お問い合わせ・チケット
会場 イベント
※主催/ふたば(すなはち地声)
※協賛/鳥取県立芸術文化センター ほか

AKASHI S.U.C. 鳥取県立芸術文化センター 鳥取県立芸術文化センター 鳥取県立芸術文化センター
Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

ポスター



カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット制作委員会が作成したガイドラインに基づき、デザインの制作を行います。カラーユニバーサルは、塗装・印刷・画面など、使用用途によって異なるため、使用用途に合わせ、誰にでも見やすいデザイン制作を行います。

イメージカラー「黄色」で展開！

ポスター以外の広報・装飾物にイメージカラー「黄色」を展開することで手話パフォーマンス甲子園の統一的なイメージとしていきます。



のぼり

幕

うちわ

のぼり(開催日入り)設置計画

鳥取県・鳥取市の入り口となるエリア、鳥取空港、鳥取駅、鳥取IC周辺を中心に設置します。

場所	本数	日程	備考・現状
◎県庁(前庭付近)	30本	7月25日(木)～9月30日(月)	
◎鳥取空港	20本	7月中旬～9月30日(月)	申請中(鳥取県より)
◎鳥取駅	35本	7月中設置	申請中
◎とりぎん文化会館(会場装飾)	30本	前日設置	
◎道路 鳥取空港 付近(国道9号線)	30本	8月末～ ※期間(1ヶ月以内)	申請中 ※くりつけ
◎道路 鳥取IC・カインズホーム 付近(国道29号線)	60本	8月末～ ※期間(1ヶ月以内)	申請中 ※くりつけ
◎道路 若桜街道(国道53号線)	30本	8月末～ ※期間(1ヶ月以内)	調整中 ※くりつけ
◎事務局(配布・予備として)	15本		
合計	250本		

* 別途、出場チームののぼりを会場内に設置

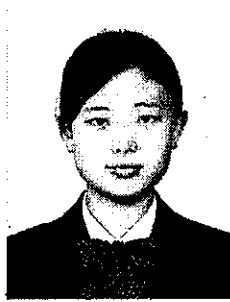
高校生「応援サポーター」を起用

昨年は3人の高校生「応援サポーター」を起用し、CM・WEB・新聞等で、大会のナビゲーターを務めて頂きました。
今大会も、現役高校生が、大会をPRすることで、手話・ろう者への理解、交流の推進を図っていきます。

＜活動内容＞ 以下、広報物への出演
WEB映像、テレビCM、ラジオCM、うさぎの耳ほか、PR番組・特別番組リポーターとして



青翔開智高等学校 2年
岡本 大空さん
(おかもと・そら)



倉吉北高等学校 3年
田熊 陽与さん
(たぐま・ひよ)



米子松蔭高等学校 3年
松原 明日香さん
(まつばら・あすか)

WEB動画

HANDSIGNが提供する公式ソングに加え、素材ストックを活用し、効果的な動画制作を行います。



参加チーム募集 編

昨年の感動的なシーンを多用し、高校生に届くようなスタイリッシュな映像を制作します。

出場チーム・大会紹介 編

高校生サポーターが、ナビゲーターとなり、出場チームの紹介や、大会の魅力を紹介していきます。

大会総括 編

今年撮影した動画を使って、感動的なダイジェスト映像にし、第7回大会の告知へつなげます。

テレビCM

「応援サポーター」が、出場校の練習の様子をバックに大会の魅力伝えます。

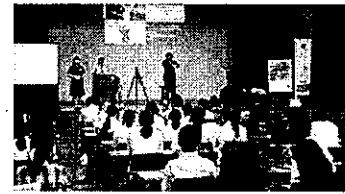


予選審査会 計画

● 予選審査会 1日目 8月1日(木)

会場：鳥取県庁議会棟3階 特別会議室

- ・ビデオ審査(動画上映3分+審査2分*各チーム)
- ・出場チームの選出協議
 - ※10チームごとに休憩を挟みながら実施
 - ※申込チーム数により、2日目もビデオ審査を実施



● 予選審査会 2日目 8月2日(金)

会場：鳥取県庁第2庁舎4階 33・34会議室

- ・審査結果発表会/演技順抽選会

時間	内容
	●報道・一般受付
30分程度	●式次第 1 司会あいさつ ◎手話パフォーマンス甲子園の開催趣旨等を説明 2 主催者あいさつ及び概要説明【鳥取県 太田室長】 ◎大会概要 ◎募集結果 ◎選出方法 ◎審査会の状況 ◎当日の発表順について 3 審査委員長あいさつ【庄崎審査員長】 ◎審査の全体の状況を説明 4 審査発表【庄崎審査員長】 (1) 地方ブロック枠 6チーム (2) 得点順枠 6チーム以上 (3) 合同チーム枠 1チーム (4) 初出場枠 1チーム (5) 開催地枠 1チーム又はなし (6) 全体の講評 5 本大会発表順抽選方法説明 (1) 出場チームの得点12位～8位を発表(開催地枠、初出場枠、合同チーム枠を除く) (2) 前半の演技順を抽選【庄崎審査員長】※1番目=開催地枠、2番目=初出場枠、3番目=合同チーム枠 (3) 出場チームの得点7位～1位を発表 (4) 後半の演技順を抽選【庄崎審査員長】 (5) 選手宣誓チームの抽選【庄崎審査員長】 6 講評【庄崎審査員長】 7 閉会のあいさつ【司会者】
	●終了 ※終了後、会場後方にてマスコミによる取材を行います。

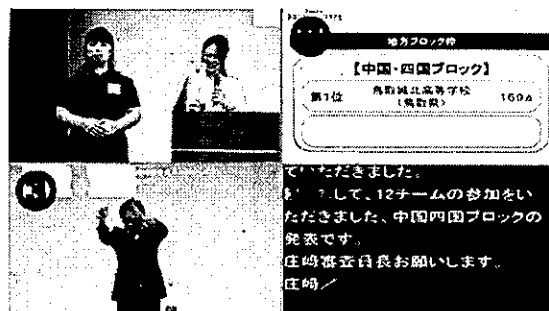
● 予選審査会 モニター・配信/情報保障計画

ライブ配信映像(結果発表の様子)は、画面を4分割し配信します。

- ①手話通訳者(より)
- ②スクリーン映像
- ③ライブ映像
- ④要約筆記

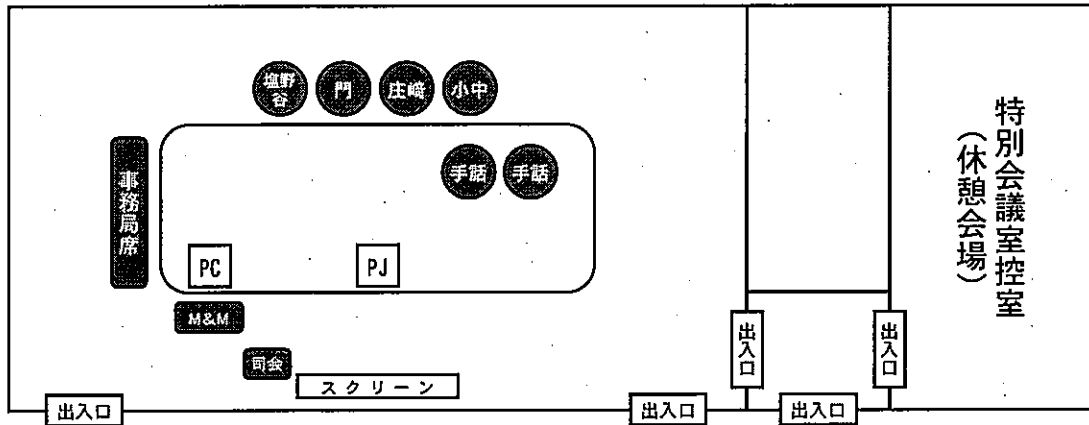
※手話で話す場合

③のライブ映像は、手話の読み取りがしやすいようにアップで配信します。

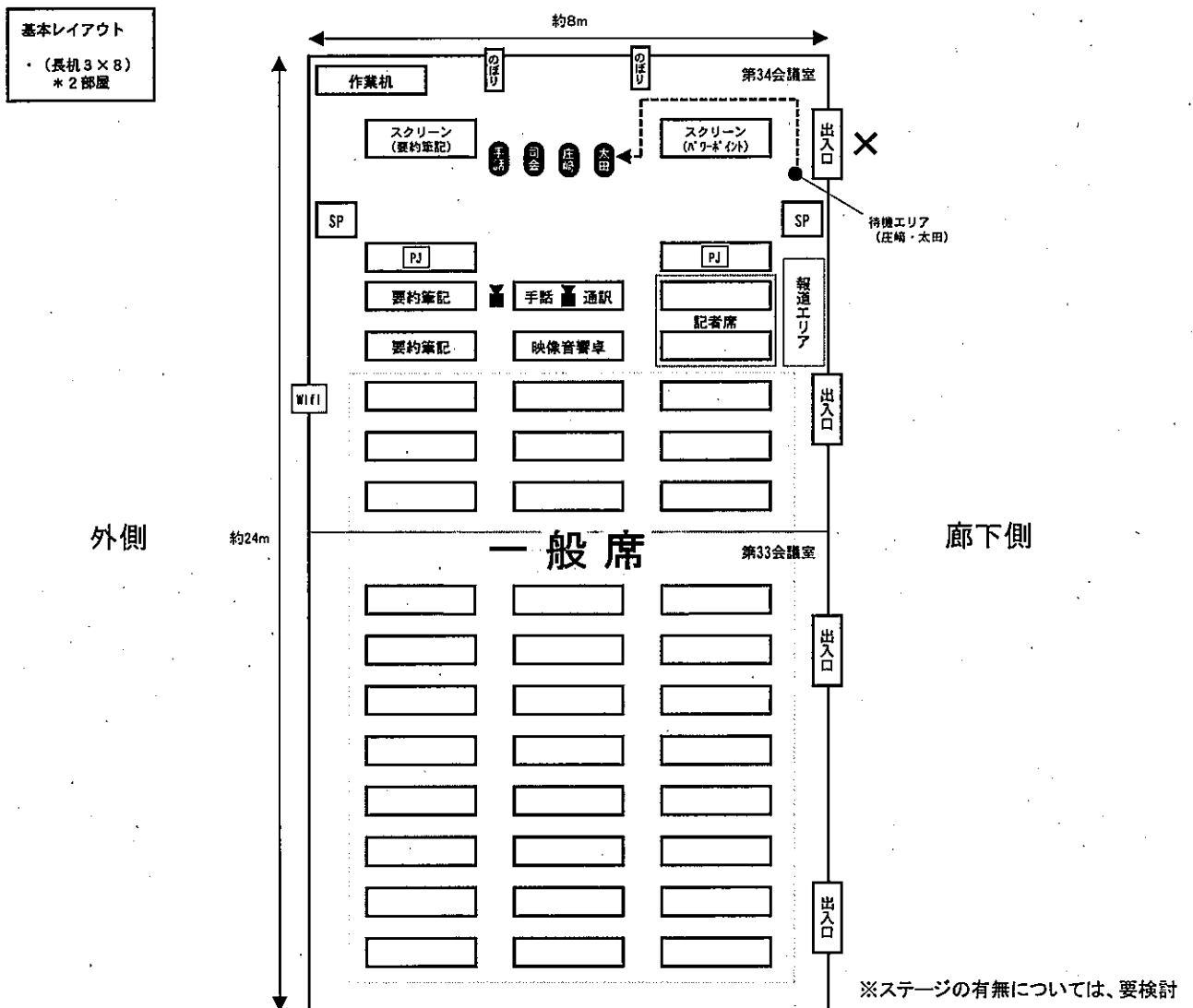


予選審査会 計画

[予選審査会 会場図] @鳥取県庁議会棟3階 特別会議室



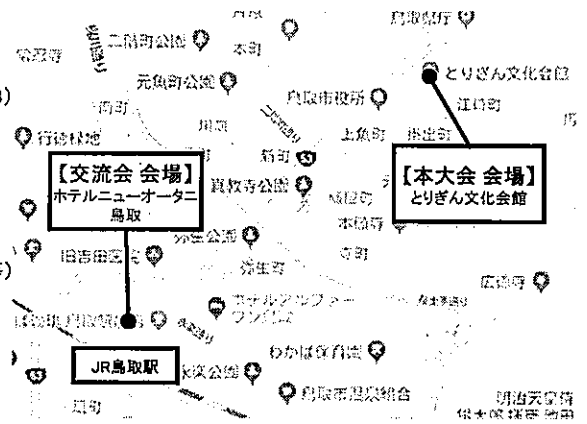
[予選審査結果発表・演技順抽選 会場図] 鳥取県庁第2庁舎4階 33・34会議室



■実施概要

交流会

- 日時 令和元年9月28日(土)18:00~19:30(20:00)
- 会場 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間(鳥取市今町2-153)
- 主催 鳥取県、手話パフォーマンス甲子園実行委員会
- 出席者 約250名
 - ◎出場チーム(生徒、引率者)
 - ◎出演者(審査員、演技司会、ゲスト等)
 - ◎来賓(全日本ろうあ連盟、日本財団、国・県議会議員等)
 - ◎主催者等
- 形式 立食ビュッフェ方式、テーブル指定
- 次第(案)



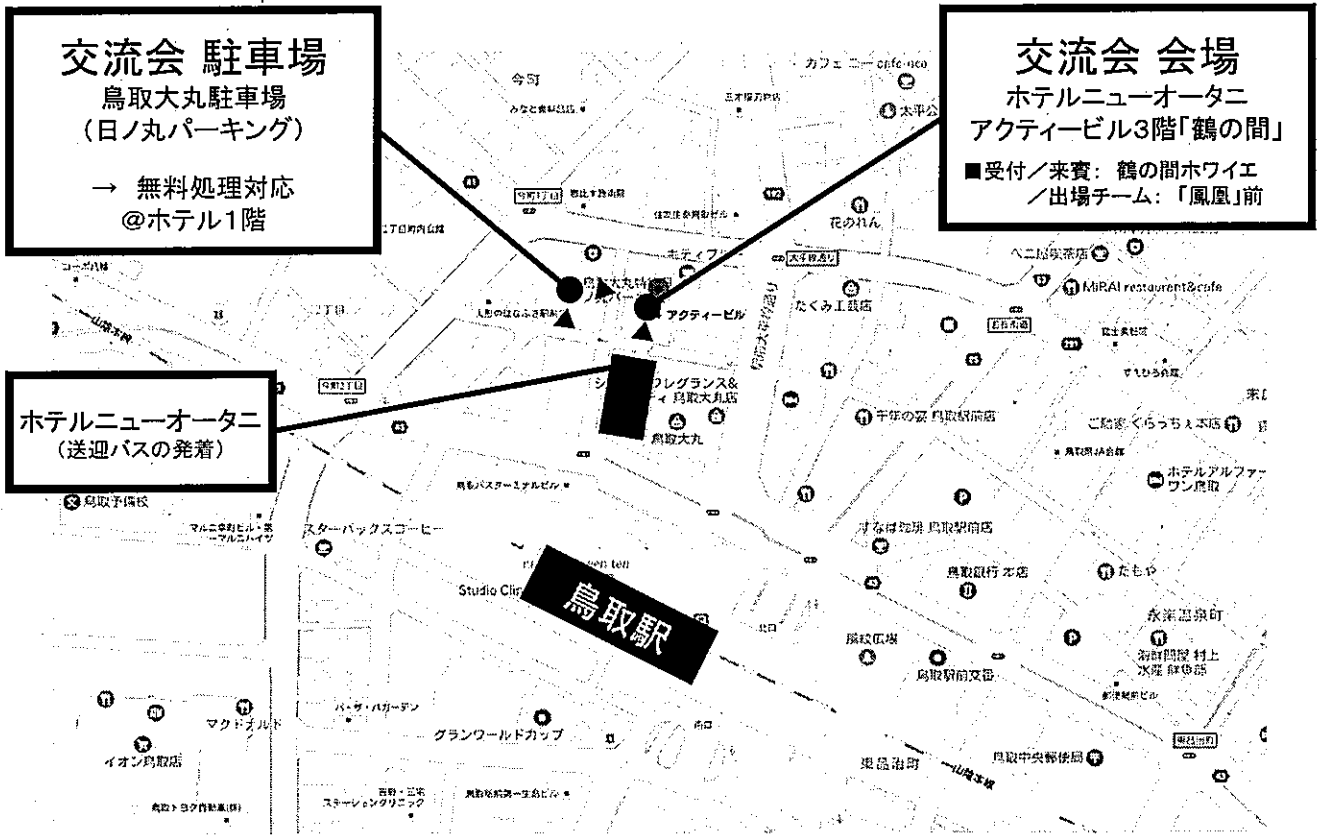
時間	項目	内容
18:00	開会	
18:01		
18:04	主催者あいさつ	実行委員会会長
	乾杯	鳥取県議会議長
18:12~	歓談	
	出場チームの抱負	各出場チームからの大会への意気込みを発表
19:00		
	歓談・催し	マグロの解体ショー、審査員長エール等
19:30	閉会あいさつ	
~20:00	(高校生交流)	

※内容及び時間は現時点の予定(今後変更の可能性あり)

<ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間>

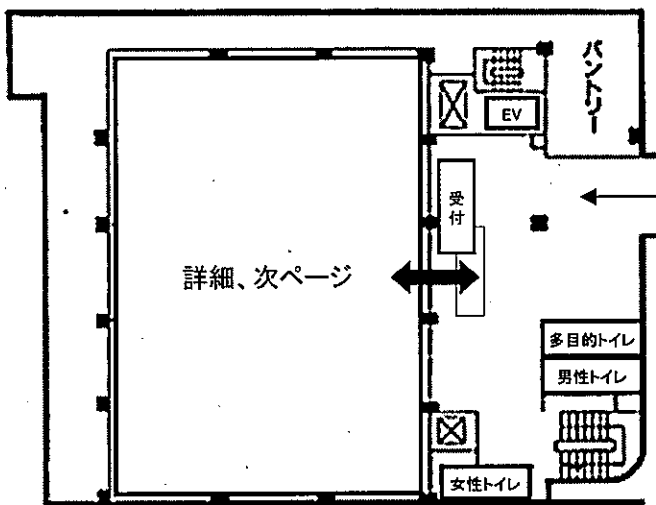


●会場周辺図

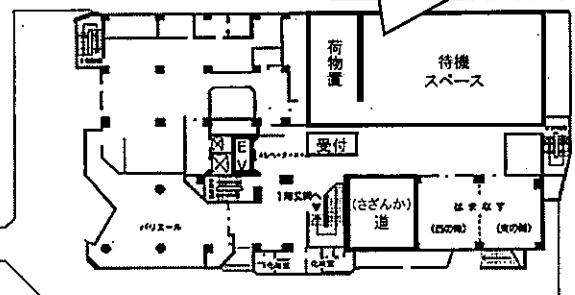


●会場図

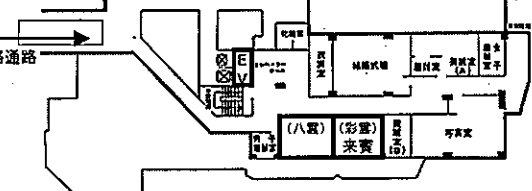
●アクティビル3F 鶴の間



●2F

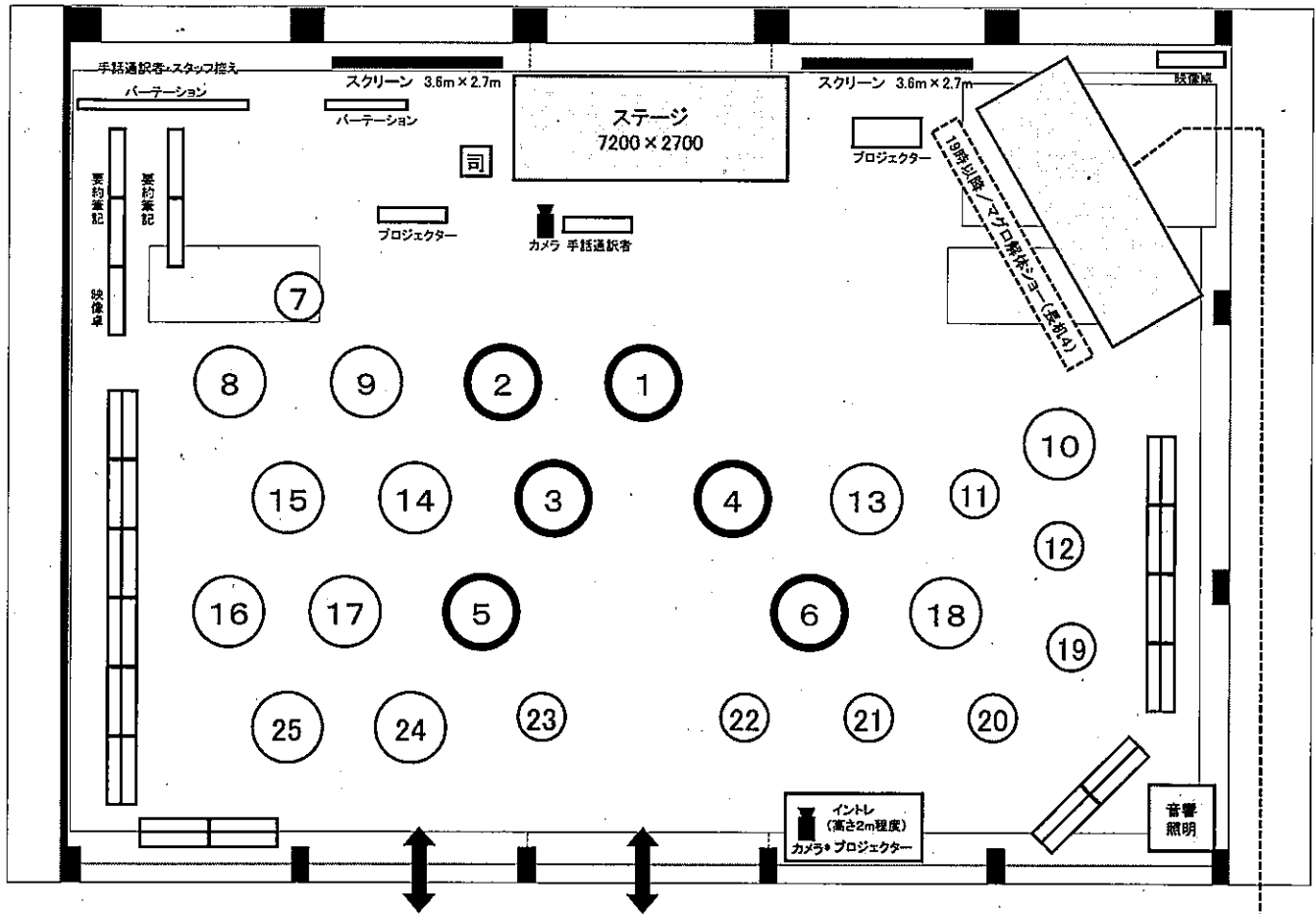


●3F



*レイアウトは、調整中

●会場図(鶴の間)



※基本レイアウトとして、参加者数により微調整
 ※テーブル1~6 来賓 / 以降、出場チーム想定
 ※会場内に、休憩用の椅子を設置

第 6 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の表彰について

手話パフォーマンス実行委員会事務局

1 経過・概要

第 6 回大会では、全国の精鋭が集う憧れの大会とするとともに、更に内容の濃い大会とする取組として、本大会出場チームを 15 チームに見直した。

これにともない、入賞 7 チーム以外の 8 チームについても、本大会出場チームは全国から選ばれた精鋭であり本大会出場自体が荣誉であるとともに、本大会での素晴らしいパフォーマンスを讃えるため、特別賞を授与する。

2 表彰内容

これまで入賞の 7 チーム以外には、参加賞として梨華賞を授与していたが、特別賞を授与する。

第 5 回大会 梨華賞 (参加賞) → 第 6 回大会 手話パフォーマンス奨励賞 (特別賞)

区分	第 5 回 (出場 20 チーム)	第 6 回大会 (出場 15 チーム)	
入賞	【入賞 7 チーム】 優勝 準優勝 3 位 審査員特別賞 全日本ろうあ連盟賞 日本財団賞 鳥取県聴覚障害者協会賞	【入賞 7 チーム】 同左	変更なし
その他	【参加賞 13 チーム】 <u>梨華賞</u> ※大会後に賞状を送付	【特別賞 8 チーム】 <u>手話パフォーマンス奨励賞</u>	※表彰式で表彰 ※副賞を贈呈

※奨励賞・・・業績等を評価し、今への期待や激励などの意味込めて授与される賞

【備考】

本大会出場 15 チームに賞を授与することとし、入賞 7 チーム以外の 8 チームへの賞の授与の方法について、事務局では、入賞以外の 8 チームには異なる名前の賞をそれぞれ授与することを検討していたが、平成 30 年度第 4 回企画推進会議 (H31.2.22 開催) において、同一の名前とした方がよいとの委員からの御意見を踏まえて再検討したもの。

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 本大会審査実施要領（案）

1 概要

- (1) 日程 令和元年9月29日（日）
 (2) 場所 とりぎん文化会館 梨花ホール（鳥取県鳥取市）

2 審査員

審査員は、ろう者3名及び聞こえる人3名の計6名とし、このうち1名を審査員長とする。

3 審査方法

5の採点方法に基づき、各審査員が各チームの演技を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

4 演技時間等

- (1) 演技時間は、6分以上8分以内とする。
 (2) 演技は、司会者が「どうぞ」と演技開始の声掛けを行ったときから開始し、生徒の「ありがとうございました」の発声又は手話をもって終了する。
 (3) 各チームの演技時間の実績は、主催者が計測した時間とする。なお、演技時間の開始及び終了のタイミングは、(2)に基づき（不明確な場合も含め）主催者が判断することとする。
 (4) 舞台上に演技時間の経過を示すライト（4色カラー）を設置する。カラー表示は以下のとおりとする。

・演技開始後	→ 白
・6分経過（演技時間下限到達。残り2分前）	→ 青
・7分30秒経過（残り30秒前）	→ 黄
・8分超過（演技時間上限超過）	→ 赤

- (5) 演技の準備時間は、概ね1分以内とする。
 (6) 演技は舞台上の定められたエリア内で行うこと。また、演技者である生徒以外が舞台に立つことは認められない。なお、障がい等により、演技を行う際に補助が必要な場合は、舞台の下や袖から補助動作を行うことは認める。（合図を出す、リズムを示す、音声通訳を行う 等）

5 採点方法

- (1) 各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

審査員	手話言語の正確性・ 分かりやすさ	演出力・ パフォーマンス度	合計
ろう者	(30点満点)	(30点満点)	(60点満点)
ろう者	(30点満点)	(30点満点)	(60点満点)
ろう者	(30点満点)	(30点満点)	(60点満点)
聞こえる人		(40点満点)	(40点満点)
聞こえる人		(40点満点)	(40点満点)
聞こえる人		(40点満点)	(40点満点)
合計	(90点満点)	(210点満点)	(300点満点)

- (2) 各審査項目の採点の観点は次のとおりとする。

ア 手話言語の正確性・分かりやすさ

手話言語が正しく表現されているか。顔の表情も使って、分かりやすく表現されているか。演技者が表現したい内容が手話言語で伝わり、理解できるか。

イ 演出力・パフォーマンス度

チームとしての一体感があるか。機知に富み観客を魅了する表現力、ひたむきさがあるか。演技者が込めた思いやメッセージがしっかりと伝わってくるか。構成や演出がよく工夫されているか。演技の構成がスクリーンの表示に頼りすぎたものになっていないか。

- (3) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議（減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。）により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項目	内容
差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
第三者の権利を著しく侵害する内容が含まれる場合	失格
演技者である生徒以外の者が舞台上に立ち入り、演技又は演技の補助を行った場合	20点減点
定められた演技時間の上限を超過した場合 (例：8分を超え8分30秒まで △10点、8分30秒を超え9分まで △20点)	超過30秒ごとに 10点減点
定められた演技時間の下限に達しなかった場合	10点減点
演技上のセリフや手話に対応した字幕の表示が不十分な場合	10点減点
その他、定められたルールに反した場合※	5点減点
その他、不適切と認められる演技又は行為	失格又は減点

※ 「その他、定められたルールに反した場合」とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、特に審査等に影響がないと判断される場合は除く。

- ・ 1分を大幅に超えて準備に時間を要した場合。
- ・ スクリーンに表示する内容に動画を使用した場合。
- ・ 舞台上の定められたエリア以外で演技を続けた場合。
- ・ 演技終了の合図（「ありがとうございました」の発声又は手話）を全く行わず、演技を終了させた場合。

6 表彰チームの決定方法等

- (1) 優勝、準優勝及び3位は、審査得点の順により決定する。
- (2) 審査得点が同点となり、順位を審査得点で決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。
 - ア 「手話の正確性・分かりやすさ」の審査項目の高いチームを上位チームとする。
 - イ アが同点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。
 - ウ イが同点の場合は、審査員長が順位を決定する。
- (3) 審査員特別賞は、審査員で協議の上、審査員長が決定する。
- (4) 全日本ろうあ連盟賞は、全日本ろうあ連盟が決定する。
- (5) 日本財団賞は、日本財団が決定する。
- (6) 鳥取県聴覚障害者協会賞は、鳥取県聴覚障害者協会が決定する。
- (7) その他、上記受賞チーム以外全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

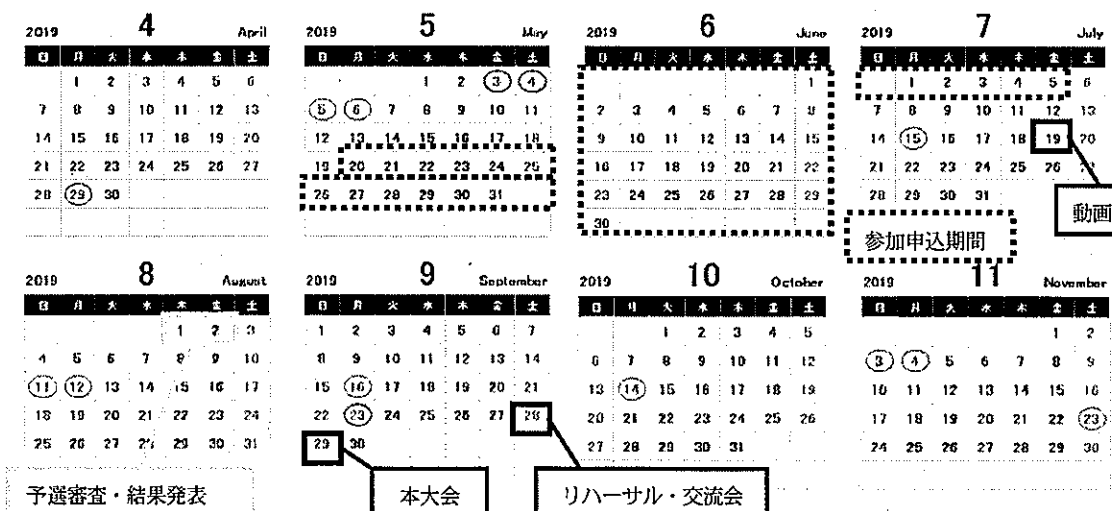
7 結果通知及び公表

- (1) 大会終了後、各チームに対し、審査得点、順位及び審査員評（審査員名は非公開）を送付する。
- (2) 本大会出場チームについて、チーム名及び審査得点（優勝、準優勝及び3位に限る。）を、大会公式ホームページに掲載する。

第 6 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係る今後の日程について

令和元年 7 月 8 日現在

日程	内容	備考
H31 年 1 月 29 日(火)	H30 実行委員会総会	第 6 回大会開催決定、第 6 回大会基本計画、H30 補正予算 等
H31 年 2 月 22 日(金)	H30 企画推進会議(第 4 回)	第 6 回大会開催要項、予選審査・選考方法等
H31 年 2 月 28 日(木)	第 6 回大会の開催日決定	第 6 回大会の日程及び開催要項公表
H31 年 3 月及び 4 月	実行委員会(書面会議)	H31 年度収支予算及び H30 年度収支決算
H31 年 3 月～	第 6 回参加募集チラシ、ポスター等の送付	・全国の高等学校、特別支援学校等、各都道府県、政令指定都市、手話言語条例制定自治体、各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体、県内各市町村等
令和元年 5 月 20 日(月)	参加申込み受付開始	
令和元年 7 月 5 日(金)	参加申込み期限	
令和元年 7 月 8 日(月)	R1 企画推進会議(第 1 回) 情報保障コーディネーター会議(第 1 回)	第 6 回大会実施計画等
令和元年 7 月 19 日(金)	予選審査動画の提出期限	
令和元年 8 月 1 日(木) 8 月 2 日(金)	予選審査会 結果発表	動画審査、結果発表、本大会演技順番・選手宣誓チームの決定
令和元年 8 月下旬	R1 企画推進会議(第 2 回) 情報保障コーディネーター会議(第 2 回)	予選審査結果、第 6 回大会実施計画、等
令和元年 8 月 30 日(金)	ヒアリングシートの提出	演技内容の詳細(シナリオ・楽曲等)の報告
令和元年 9 月 28 日(土)	第 6 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園リハーサル、交流会	リハーサル:とりぎん文化会館 梨花ホール 交流会:ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間
令和元年 9 月 29 日(日)	第 6 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会	とりぎん文化会館 梨花ホール
令和元年 10～11 月	R1 企画推進会議(第 3 回) 情報保障コーディネーター会議(第 3 回)	第 6 回大会開催結果の報告、第 7 回大会開催案の検討等
令和 2 年 1～2 月	R1 実行委員会総会	第 6 回大会開催結果の報告 第 7 回大会開催決定、第 7 回大会基本計画、等
令和 2 年 2 月	R1 企画推進会議(第 4 回)	第 7 回大会の開催要項、予選審査・選考方法等



団体協賛にご協力をお願いします！

資料7

団体協賛とは、企業等が行う協賛のことをいいます。



【資金協賛】…1口1万円から、資金の提供をお願いします。

【物品協賛】…大会の実施に要する物品の提供をお願いします。

(物品協賛の場合、金額換算します)

(協賛物品の例：大会出場チームへの賞品、参加者・スタッフへ提供する飲食料品)

団体協賛者 特典一覧	協賛金額				備考
	50万円 以上	10万円 以上	3万円 以上	1万円 以上	
1 大会協賛者の呼称の使用	○	○	○	○	
2 大会ホームページへの協賛者名の掲載	○	○	○	○	掲載順は金額の高い順となります。(同額の場合は申込順)
3 大会公式SNSでの協賛者名の紹介	○	○	○	—	1協賛者につき1回程度
4 協賛者ホームページへのリンク	○	○	○	—	
5 大会公式ロゴマークの使用	○	○	○	—	
6 大会プログラムへの協賛者名の掲載	○	○	○	—	掲載順は金額の高い順となります。(同額の場合は申込順) 7月末までに協賛いただいたものに限ります。
7 実行委員会が発行する刊行物への協賛者名の掲載	○	○	—	—	掲載順は金額の高い順となります。(同額の場合は申込順)
8 大会プログラムへの企業広告の掲載(4色カラー)	○	○	—	—	・50万円以上 A4 1/2頁 ・25万円以上 A4 1/4頁 ・10万円以上 A4 1/8頁 7月末までに協賛いただいたものに限ります。 
9 大会会場に設ける協賛者PRコーナーへのチラシ等の掲示	○	○	—	—	チラシ設置、ポスター掲示を予定
10 大会会場内へのPRブース出展	○	—	—	—	会場内で協賛者PRブースの出展をいただけます。(詳細場所等は今後調整)
11 大会PR用ののぼり、うちわ等への企業ロゴの掲載	○	—	—	—	※6月14日(金)頃までに協賛いただいたものに限ります。 

(注) ・物品協賛の場合は、金額換算します。

- ・上記1～5、7及び11は協賛後順次、6、8、9及び10は大会開催当日に特典が受けられます。
- ・大会終了後、全ての協賛者へ手話パフォーマンス甲子園実行委員会会長から感謝状を送付します。
- ・大会プログラムは、大会来場者に配付します。(最大2,500部発行予定。公式HPにも掲載。)
- ・上記8の企業広告については、原稿を作成の上、大会開催1ヶ月前までに実行委員会へ納入してください。

【お問い合わせ、申し込み先】

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内)

電話:0857-26-7678 ファクシミリ:0857-26-8136 メール:s-koushien@pref.tottori.lg.jp

個人協賛にご協力をお願いします！

個人協賛とは、個人が行う協賛のことをいいます。

【資金協賛】…1口1千円から、資金の提供をお願いします。

【物品協賛】…大会の実施に要する物品の提供をお願いします。

《協賛物品の例》

- ・大会出場チームへの賞品
- ・大会参加者、運営スタッフへ提供する飲食料品 など

協賛特典	協賛金額			備考
	1万円以上	5千円以上	1千円以上	
1 大会記念グッズのプレゼント	○	○	○	<記念グッズ例> キーホルダー、缶バッジ
2 大会実績報告書の贈呈	○	○	—	大会の成果や記録を取りまとめた30p程度の冊子(カラー)
3 大会への優先入場	○	○	—	大会の観覧席をご用意します。
4 大会記念DVDの贈呈	○	—	—	大会のダイジェスト映像(DVD)を進呈します。

- (注) 1 物品協賛の場合は、金額換算します。
2 上記特典は、協賛者にそれぞれ1個(冊、席、枚)進呈します。
3 上記1のグッズを選ぶことはできません。
4 上記1及び3を除く特典は、原則として大会終了後に協賛者へ進呈します。
5 大会終了後、1万円以上の協賛者へ手話パフォーマンス甲子園実行委員会会長からの感謝状を送付します。



【問い合わせ、申し込み先】

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課内)
電話:0857-26-7678 ファクシミリ:0857-26-8136
メール:s-koushien@pref.tottori.lg.jp

平成30年度 手話パフォーマンス甲子園実行委員会事業報告書

1 事業の目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらおうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

なお、この大会を鳥取県及び公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会の共催で開催するに当たり、積極的な連絡調整を行うことで、準備に万全を期するとともに、円滑な大会運営を図ることとする。

2 事業の内容

手話パフォーマンス甲子園の円滑な実施及び運営を図るため、以下の事業を行う。

- ア 手話パフォーマンス甲子園の企画、準備及び運営に関すること。
- イ その他手話パフォーマンス甲子園の目的を達成するために必要なこと。

3 事業の実績

日 程	内 容	備 考
平成30年2月中旬 (2月17日承認)	H29 実行委員会	第5回大会開催決定、基本計画、H29補正予算、実行委員会設置運営要綱改正
平成30年2月20日	H29 第4回企画推進会議	第5回大会開催要項、予選審査・選考方法
平成30年4月12日	第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催日決定	同日、日程及び第5回大会の開催要項公表
平成30年4月	H30 実行委員会(第1回書面会議)	H30 収支予算
平成30年5月	大会チラシ、ポスター等の送付	・全国の高等学校、特別支援学校等 ・各都道府県、政令指定都市 (障がい福祉担当課、教育委員会) ・手話言語条例制定市町 ・各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体 ・県内各市町村 ・県内公共施設 等
平成30年5月15日	参加申込み受付開始	
平成30年6月	H30 実行委員会(第2回書面会議)	H29 収支決算
平成30年7月5日	H30 企画推進会議(第1回)	第5回大会実施計画、参加申込み状況
平成30年7月5日	参加申込み期限	
平成30年7月19日	予選審査動画の提出期限	
平成30年8月2~3日	予選審査会	鳥取県庁(動画視聴による審査)
平成30年8月21日	H30 企画推進会議(第2回)	第5回大会実施計画、予選審査結果
平成30年10月6日	第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園リハーサル、交流会	米子コンベンションセンター クラウンプラザホテル米子
平成30年10月7日	第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会	米子コンベンションセンター
平成30年11月22日	H30 企画推進会議(第3回)	第5回大会開催結果の報告、意見交換
平成31年1月29日	H30 実行委員会総会	第5回大会開催結果の報告、 第6回大会開催決定、H30年度補正予算
平成30年2月22日	H30 企画推進会議(第4回)	第6回大会開催要項、予選審査基準及び本大会選考方法等

4 第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果別添のとおり。



第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

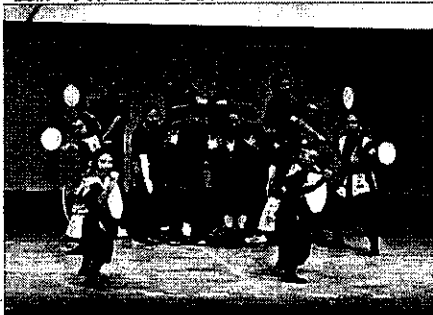
1 大会の概要

- (1) 開催日時 平成30年10月7日(日) 午前9時から午後4時まで
 (2) 開催場所 米子コンベンションセンター 多目的ホール(米子市末広町294番地)
 (3) 演技内容 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、コント、落語などのパフォーマンス
 (4) 出場チーム 12都県から、全20チーム(22校)が出場
 (5) 来場者数 約2,000人(入場無料)
 (6) 大会結果

表彰内容	チーム名	演技分類	タイトル
優勝	まわし 真和志高等学校(沖縄県)※	ダンス・演劇	時をこえ ～今私たちができること～
準優勝	くろいしほろ 黒石原支援学校(熊本県)	演劇・ポエム	車椅子に乗って気づいたこと
第3位	熊本豊学校(熊本県)	コント・落語	笑う門には福来る ～熊ろう寄席～
審査員特別賞	中央ろう学校(東京都)	ダンス・演劇・歌唱・ASL	THIS IS ME
全日本ろうあ 連盟賞	立川ろう学校・富士森高等学校(東京都)	ダンス・演劇・イリュージョン	情熱 ～伊能忠敬とリコの阿波踊り～
日本財団賞	きょうわ 杏和高等学校(愛知県)	狂言	おそそ仁王
鳥取県聴覚 障害者協会賞	ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校(広島県)	歌唱・演劇・ギター演奏	広島の私達が今、伝えたいこと

※「時をこえ」という歌に乗せ、語り継ぐべき歴史や命の尊さなどの想いを手話とともに発信

優勝：真和志高等学校



準優勝：黒石原支援学校



第3位：熊本豊学校



全日本ろうあ連盟賞：

立川ろう学校・富士森高等学校



日本財団賞：杏和高等学校(大会初の狂言に挑戦)



鳥取県聴覚障害者協会賞：ノートルダム

清心高等学校・広島南特別支援学校



《審査方法》(6名の審査員の審査得点を合計。(最大300点。))

種別	人数	審査項目	配点
ろうの審査員	3名	○手話の正確性・分かりやすさ ○演出力・パフォーマンス度	30点 30点(合計60点)
聞こえる審査員	3名	○演出力・パフォーマンス度	40点

(7) 出演者等

内容	氏名 (敬称略)	役職等
演技司会	早瀬 憲太郎	学習塾「早瀬道場」代表
	中野 郁海	AKB48 チーム8 鳥取県代表
総合司会	原田 裕和	NHK鳥取放送局チーフアナウンサー
ゲストパフォーマー	手話パフォーマー ンスきいろぐみ	ろう者と聞こえる人で構成されたサインパフォーマンスグループ
審査員長	庄崎 隆志	演出家・俳優
審査員	小中 栄一	全日本ろうあ連盟副理事長
	貴田 みどり	女優・ダンサー
	門 秀彦	絵かき
	金沢 映子	舞台女優
	寺川 志奈子	鳥取大学地域学部教授

演技司会の早瀬氏と中野郁海さん



手話パフォーマンスきいろぐみ



(8) 同時開催の催し

- あいサポート・マルシェ (障がい福祉サービス事業所による飲食物や雑貨等の販売)
- 鳥取聾学校写真作品展
- 高校生の実習製品等の販売コーナー (倉吉農業高等学校、米子松蔭高等学校)
- 高校生による郷土芸能ステージ (米子白鳳高等学校 (淀江さんこ節))
- 手話カフェ
- ワークショップ (砂像色付体験等)
- 鳥取県聴覚障害者協会コーナー、鳥取県手話サークル連絡協議会コーナー
- 公式グッズ販売コーナー、鳥取県特産品販売コーナー 等



2 佳子内親王殿下の御臨席について

2年ぶりに佳子内親王殿下の御臨席を賜り、開会式では、手話に対する意識を高める活動に尽力されている方への敬意、手話パフォーマンスに取り組む高校生の姿に深い感銘を受けてこられたことや今大会への期待などのおことばを賜った。また全出場チームの演技を御覧いただいた。

また、大会前日の交流会にも御臨席を賜り、出場校の代表生徒と御歓談いただいた。



開会式でのおことば



交流会での御歓談

3 その他

- ・大会の様子を手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル (You Tube) にてライブ配信を行った。
- ・約 50 席のサテライト会場を情報プラザに用意し、ホールに入れなかった方のために大会の様子を放映した。また、障がいのある方、車椅子の方などを対象にホール内前方にハートフル席を設けた。
- ・会場内では、情報保障として、手話通訳、要約筆記のほか、音声ガイド受信機や要約筆記タブレットの貸出しなどの各種サービスを実施した。
- ・10月6日にANAクラウンプラザホテル米子にて交流会を開催し、出場チーム、出演者、来賓等約 300 人が参加して交流を深めたほか、井崎哲也氏のサインマ임やマグロの解体ショー等の催しを行った。
- ・9月10日(月)に境港総合技術高等学校と米子東高等学校にて「HANDSIGN SCHOOL PROJECT」を開催し、手話についてのトークや手話パフォーマンス体験等を行い、大会や手話の魅力 PR 等を行った。
- ・11月4日(日)16:30 から日本海テレビにて大会ダイジェストテレビ番組を放送した。

4 大会成果

【ポイント】

- 過去最多の62チームの参加申込など、大会や手話への関わりの裾野が着実に拡大している。
- 一般高校と聾学校との合同チーム出場や聴覚障害者協会等による生徒への手話指導など、大会参加を通じて、きこえない人ときこえる人との交流がますます拡大してきている。
- 佳子内親王殿下の御臨席をはじめ、多くの方に御来場いただくとともに、新聞・テレビ報道等により、大会開催と手話言語への理解等について、県内外に広く発信することができた。
- 大会後に、出場チームが地元イベント等で演技を披露するなど、大会当日のみならず、全国各地に手話パフォーマンスの輪が広がり、手話言語への理解が進展している。

(1) 裾野の拡大

- 過去最多62チーム(65校)が参加申込み。うち19チーム(21校)初参加で、着実に裾野が拡大
- 第1回大会から第5回大会まで延べ276校(実数125校)が35都道府県から参加

区分	第5回大会	第4回大会	第3回大会	第2回大会	第1回大会
参加申込チーム数 (学校数)	62チーム (65校)	54チーム (55校)	61チーム (65校)	47チーム (50校)	41チーム (41校)
都道府県数	28都府県	27都道府県	30都道府県	22都道府県	21都道府県

(2) きこえない人ときこえる人との交流の拡大

- 一般の高校と特別支援学校との合同チームが4チーム予選参加(うち2チームが本大会出場)し、大会を通じて、障がいを超えた高校生同士の交流が拡大(昨年は2チームが参加申込)
 - ◇立川ろう学校・富士森高等学校(東京都)
 - ◇ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校(広島県)
 - ◇筑波大学附属桐が丘特別支援学校・同駒場高等学校(東京都)・同坂戸高等学校(埼玉県)
 - ◇鳥取聾学校・岩美高等学校(鳥取県)
- 大会参加を契機に、高校生と各種団体等との新たな交流が生まれている
聴覚障がい者協会や手話サークル等による高校生への手話指導等(岡崎東高校、済美高校、杏和高校等)

(3) 全国各地に手話言語への理解・普及が拡大

- 県内外から約2,000名の来場をいただき、幅広い世代に手話言語への理解が進展
(その他、大会当日のライブ配信(YouTube)の再生数は延べ4500回以上で全国で多くの方が視聴)
- 全国・地方のメディアに取り上げられ、大会認知と手話言語への理解が拡大
新聞等
県内各新聞、琉球タイムス、沖縄新報、中国新聞、中日新聞、読売新聞(愛知版)、スポニチAnnexなど
テレビ
NHK(Eテレ)「ろうを生きる難聴を生きる」(11月3日、11月10日)、
中京テレビ「ゴリ夢中」(11月3日)、その他 大会を伝える報道ニュースなど
- 大会後に、出場チームが地元イベント等で手話パフォーマンスを披露する等、大会当日のみならず、全国各地に手話パフォーマンスの輪が広がり、手話言語への理解が進展
真和志高等学校、横浜南陵高校、杏和高校、奈良県立ろう学校、田鶴浜高校、鳥取城北高校 など

(4) その他

- 高校生ボランティアの参加により社会体験・学習の場や高校生同士の交流の場となっている
・今回は県内6校から40名の生徒が出場チームのアテンドなどのボランティア参加
- 大会を重ねるごとに、演技内容が深化
・諸課題等に訴えかけるものなど演技内容が深化し出場生徒及び観客双方に意義深い大会になっている

平成30年度手話パフォーマンス甲子園実行委員会収支決算書

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	現計予算額	決算額	差引	備考
助成金	33,980,000	33,980,000	0	日本財団助成金
負担金	12,000,000	11,557,998	-442,002	鳥取県負担金 (お成りに係る経費、TV番組制作費、第6回募集広報費)
協賛金	2,235,000	2,235,000	0	協賛金(企業・団体・個人)
手数料	213,000	239,614	26,614	応援自販機手数料
雑入	108,000	108,194	194	寄付金、預金利息
繰越金	1,010,421	1,010,421	0	H29年度からの繰越金
合計	49,546,421	49,131,227	-415,194	

(2) 支出の部

科目	現計予算額	決算額	差引	備考
実行委員会運営費	600,000	517,472	-82,528	実行委員会開催経費 実行委員会の運営経費等
広報宣伝費	5,800,000	5,159,238	-640,762	チラシ・ポスター制作、TV番組制作委託、広告費等
大会開催費	8,576,421	7,765,580	-810,841	会場使用料、出場チーム旅費等 助成、表彰関係物品等
大会運営委託費	34,570,000	34,551,900	-18,100	大会企画運営委託業務委託 委託業者選定審査会開催経費等
合計	49,546,421	47,994,190	-1,552,231	

(3) 来年度繰越額

(単位:円)

収入(決算)	支出(決算)	H31年度への繰越額
49,131,227	47,994,190	1,137,037

平成31年(2019年)度 手話パフォーマンス甲子園実行委員会事業計画書

1 事業の目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

なお、この大会を鳥取県及び公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会の共催で開催するに当たり、積極的な連絡調整を行うことで、準備に万全を期するとともに、円滑な大会運営を図ることとする。

2 事業の内容

手話パフォーマンス甲子園の円滑な実施及び運営を図るため、以下の事業を行う。

- ア 手話パフォーマンス甲子園の企画、準備及び運営に関すること。
- イ その他手話パフォーマンス甲子園の目的を達成するために必要なこと。

3 手話パフォーマンス甲子園の概要

(1) 概要

日 時	平成31年(2019年)9月29日(日) 午前9時30分から午後4時まで(予定)
場 所	とりぎん文化会館 梨花ホール(鳥取市尚徳町101番地5)
プログラム	1 開会式(関係者挨拶、優勝旗返還、選手宣誓、チーム紹介) 2 出場チーム演技(演技時間:1チーム当たり6分以上8分以内) 3 ゲストパフォーマンス 4 審査結果発表(審査員6名) 5 表彰式(賞状等授与)、講評 6 閉会

(2) 資格 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)・特別支援学校高等部・高等専門学校(3年生まで)・専修学校及び各種学校の修業年限が高等学校と一致している生徒(校長の推薦書が必要)

(3) 演技 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンス

(4) スケジュール

ア 参加申込み期間

平成31年(2019年)5月20日(月)から同年7月5日(金)まで

※ 予選審査動画の提出期限:7月19日(金)

イ 予選審査会

平成31年(2019年)8月1日(木)及び2日(金)(鳥取市内で開催)

※予選審査結果発表を8月2日(金)に公開の上で行う。

ウ リハーサル・交流会

(ア) 日程 平成31年(2019年)9月28日(土)

(イ) 場所 以下のとおり

ア リハーサル とりぎん文化会館 梨花ホール(本大会と同会場)

イ 交流会 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間

エ 本大会

平成31年(2019年)9月29日(日) とりぎん文化会館 梨花ホール

4 実行委員会の開催予定

日 程	内 容
平成31年(2019年) 6月	実行委員会企画推進会議(第1回)
平成31年(2019年) 8月	実行委員会企画推進会議(第2回)
平成31年(2019年) 11月	実行委員会企画推進会議(第3回)
平成32年(2020年) 1月	実行委員会総会
平成32年(2020年) 2月	実行委員会企画推進会議(第4回)

平成31年(2019年)度 手話パフォーマンス甲子園実行委員会収支予算書

(1)収入の部

(単位：円)

科目	H31年(2019年)度 予算額	前年度予算額 (補正後)	増 減	備 考
助成金	30,000,000	33,980,000	-3,980,000	日本財団助成金
負担金	15,120,000	12,000,000	3,120,000	鳥取県負担金
協賛金	1,950,000	2,235,000	-285,000	協賛金(企業・団体、個人)
手数料	180,000	213,000	-33,000	応援自動販売機手数料
雑入	100,000	108,000	-8,000	寄付金、預金利息
前年度繰越金	1,137,037	1,010,421	126,616	
計	48,487,037	49,546,421	-1,059,384	

(2)支出の部

(単位：円)

科目	H31年(2019年)度 予算額	前年度予算額 (補正後)	増 減	備 考
実行委員会運営費	700,000	600,000	100,000	実行委員会開催経費 実行委員会の運営経費等
広報宣伝費	5,087,037	5,800,000	-712,963	テレビ番組制作委託費、広告費等
大会開催費	11,175,000	8,576,421	2,598,579	・大会開催経費 (出場チーム旅費助成、会場使用料、表彰物品等) ・交流会開催経費(会場費、食糧費等) ・関係機関との連絡調整経費 等
大会運営委託費	31,525,000	34,570,000	-3,045,000	・大会企画運営業務委託費(大会準備・運営経費、広報物製作費、お成り経費、出演経費等) ・委託業者選定審査会開催経費等
計	48,487,037	49,546,421	-1,059,384	